

児童学科科目

授業科目名	右上表示	授業科目名	右上表示
児童学研究法	児童-1	音楽療法的アプローチ	児童-23
児童学特講	児童-2	小児保健学 1	児童-24
児童学演習	児童-3	小児保健学 2 (精神保健を含む)	児童-25
発達心理学 1	児童-4	小児栄養学	児童-26
発達心理学 2	児童-5	母性保健	児童-27
青年心理学(テキスト)	児童-6(1)	子どもと造形 1	児童-28
青年心理学(後期エニタイムスクーリング)	児童-6(2)	子どもと造形 2	児童-29
児童臨床心理学	児童-7	子どもと造形 3	児童-30
表現アートセラピー基礎	児童-8	児童文学 (テキスト)	児童-31(1)
表現アートセラピー 1	児童-9	児童文学 (夏期スクーリング)	児童-31(2)
表現アートセラピー 2	児童-10	児童文学特論	児童-32
応用表現アートセラピー	児童-11	子どもと絵本	児童-33
基礎カウンセリング 1	児童-12	絵本学概論	児童-34
基礎カウンセリング 2	児童-13	児童福祉	児童-35
分析的アートセラピー (描画)	児童-14	児童虐待の構造と支援	児童-36
幼児教育方法論	児童-15	社会	児童-37
保育・教育課程論	児童-16	算数	児童-38
保育内容総論	児童-17	理科	児童-39
乳幼児教育論	児童-18	生活	児童-40
子どもとマルチメディア	児童-19	家庭	児童-41
音楽表現	児童-20	子どもと健康・運動	児童-42
子どもと表現	児童-21	子どもと人間関係	児童-43
身体クリエイティブ表現 (夏期スクーリング)	児童-22(1)	子どもと環境	児童-44
身体クリエイティブ表現 (集中スクーリング)	児童-22(2)	子どもと言葉	児童-45

児童学研究法（夏期スクーリング）

担当教員：宮津 寿美香

3年次～ 必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

児童発達の基本的な研究方法である実験法、観察法、質問紙法、面接法について、講義、演習（論文購読）を通じて具体的に理解できるように進める。研究方法への入門編という立ち位置でおこなう。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom利用）】

授業の中では、Zoomのブレイクアウトルームを利用し、グループディスカッションを行ったり、課題に取り組み提出等を行う。

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ①児童発達の研究に関心を持ち、論文を読んでも、書いてみることへの意欲を高める。
- ②実際の論文を読んで、研究方法がどのように用いられるか理解できるようにする。
- ③自分の関心のある、児童発達の研究課題について、適切な研究方法を選択し、研究計画を作成するための準備ができるようにする。（卒業論文を考えている場合）

授業計画

1. 授業の進め方と本授業のねらい
2. 研究とは何かー実践から研究へー
3. 実験法の特徴
4. 実験法を行うには
5. 実験法を用いた論文を読む
6. 観察法の特徴
7. 観察法を行うには
8. 観察法を用いた論文を読む
9. 質問紙法の特徴
10. 質問紙法を行うには
11. 質問紙法を用いた論文を読む
12. 面接法の特徴
13. 面接法を行うには
14. 面接法を用いた論文を読む
15. その他の研究法・まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

自分の関心のある児童に関するテーマを選ぶ。テーマは、子どもに限らず、子どもを取り巻く環境など広く考えてもよい。自分で研究を考えている場合は、それについての先行研究を選んで読んでおく。時間は特に定めない。

事前課題

授業開始、1週間前にはmanabaに授業関連資料を掲載予定である。事前に目を通しておくことが望ましい。

②使用教科書

特に指定せず、担当者がまとめたパワーポイントを中心にすすめる。

③参考書

心理学ベーシック第1巻 なるほど！心理学研究法 三浦麻子 北大路書房 2017

④持参（準備）するもの

パソコン（またはタブレット）、インターネット環境。

⑤成績評価

授業参加・発表（グループディスカッションへの参加、意見の発言を評価する）50%、

授業内レポート（授業への取り組み方と理解度を評価する）50%

⑥学生へのメッセージ

日ごろから、子どもの発達や子どもを取り巻く環境に対して興味や問題意識を持って過ごしてほしい。本授業を受講するにあたり、児童に関する研究法の知識を身につけるだけでなく、自分が研究するときに応用できるように理解を深めてほしい。

Zoomでの授業のため、受講生の状況を見ながら授業を進める。また、本授業はあくまでも基礎的な研究法の紹介と論文の読み方、考え方について深めるためのものである。応用的な内容を求めるものではないことをご了承いただきたい。

特記事項 特になし

児童学特講（夏期スクーリング）

担当教員： 大沼 郁子

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

この授業では、子どもたちを取り巻く状況について、児童文化財を通して考えます。児童文学作品や絵本、テレビゲーム、アニメに子どもを取り巻く現代社会の問題がどのように描かれているか、それらの問題がどのように作品化されているかを学びます。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom, Microsoft Teams 利用）】

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

現代の子どもたちを取り巻く問題を知り学びを深めるとともに、それらについて表現する児童文学作品や児童文化材の多様さを知る。

授業計画

【第1日目 午前】 イントロダクション：授業の進め方について説明します。 1. 「子どもたちと戦争展」の実践について 2. 戦時下の絵本 3. 現代児童文学に描かれる「戦争」	【第2日目 午後】 子どもたちと玩具 ② 9. テレビゲーム - その歴史と成立・性質、ファンタジー、神話との関連 10. サブカルチャー - 特撮、戦隊、ロボット
【第1日目 午後】 4. 病児へのインフォームド・コンセントとプレイセラピー 5. 医療現場と「手作り絵本」の実践について 6. 病児へのブックリスト	【第3日目 午前】 児童文学とジェンダー 11. 絵本に見るジェンダー 12. ヤング・アダルト (YA) 小説から考える
【第2日目 午前】 子どもたちと玩具 ① 7. 人形たちの「物語」 玩具・人形が児童文学の中でどのように描かれているか 8. さまざまな人形について ロング・セラーの人形、雛人形、雛祭り	【第3日目 午後】 ファンタジー作品に見る子どもの成長と描かれ方の変遷 13. 「ナルニア国ものがたり」 14. 「ハリー・ポッター」シリーズ 15. まとめ

受講にあたって

- ① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 特になし
- ② 使用教科書 特になし。授業の資料はmanabaで配布予定。
- ③ 参考書 適宜授業内でお知らせします。
- ④ 準備するもの 遠隔授業なので、ZOOMを使用できる環境であること
- ⑤ 成績評価 授業参加度 30%、授業内課題 30%、最終日授業内レポート 40%
- ⑥ 学生へのメッセージ 授業に主体的に参加できる方の受講をお待ちしています。

児童学演習（夏期スクーリング）

担当教員： 加藤 直子・中山佳寿子

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

今年度の「児童学演習」では、児童期の中でも特に幼児期に焦点を当てる。本演習を通して、保育実践における幼児理解や保育、教育のあり方について学んでいく。保育の質や保育者の専門性を担保するためには、子どもの育ちや自身の保育を振り返る視点と、専門性そのものについての知識の二つが大切である。まず、一つめの視点を獲得するための条件として、子どもから離れる時間の確保（ノンコンタクトタイム）が必要となる。そこで、実際の保育現場におけるノンコンタクトタイムを活用したドキュメンテーション作成の事例を紹介し、その必要性や活用方法について、実践例（幼児教育、子育て支援）を提示しながら考えていく。また二つめの保育者の専門性については、今回「遊びの展開の技術」——特に、保育・教育の目標にもなっている「創造性」を育む遊びや活動の具体的な展開——を中心に取り上げる。子どもの「創造性」を念頭に、事例の検討を通して保育所や幼稚園における活動のあり方について考察を深める。さらに、子どもの自由な発想を育む表現遊びを実際に体験しながら、遊び・活動の立案方法及び絵本・素材の具体的な活用法を知る。以上の理解を踏まえ、自ら活動やあそびを考案し模擬保育を行なうことを目指す。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom利用）】

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ①保育の質や保育者の専門性について様々な角度から考え、それを高めていくための手段について考察し、実践できるようになる。
- ②保育者の専門性としての「遊びの展開の技術」について理解し、子どもの意欲や創造性を高める活動を自ら考案する力を養う。

授業計画

1. 保育の質、保育者の専門性： 「ドキュメンテーションとは」
2. ドキュメンテーションの意義： 「ノンコンタクトタイム」を活用したドキュメンテーションの作成について
3. ドキュメンテーションの活用： 子どもの育ちを捉える、集団の情報共有と相乗効果
4. ドキュメンテーションの活用： 保育を振り返る、保育者同士の情報共有
5. ドキュメンテーションの活用： 家庭との連携、保護者同士の関係づくり
6. 幼児教育、子育て支援について、実践例の紹介と検討（子どもの遊び、保育の質、子育て支援）
7. グループワーク： 「ドキュメンテーション」を作成してみる
8. グループでの討議と発表： 「ドキュメンテーション」が描き出す子どもの姿について、
9. 保育者の専門性： 「遊びの展開の技術」「創造性を育む保育」について ～教育基本法・五領域の中の「創造性」について～
10. 領域「環境」と創造性（事例紹介）： 科学絵本のピブリオバトル／科学絵本を参考に活動の立案を行なう
11. 領域「言葉」「表現」と創造性： 模倣から即興へ導くあそびを考案する
12. 創造性を育む保育実践： 表現の生まれる過程に注目して身体表現と言葉の相互作用を生むあそび
13. ごっこ遊びと劇あそび： 絵本を出発点にしてごっこあそびを立案し、模擬保育を行なう
14. 子どもたちの発想を生かした脚本作り： ごっこあそびで出たアイデアを取り入れて脚本を作成する
15. まとめ： 「保育の質と保育者の専門性」について各人で意見をまとめ、それをもとにグループ討議と発表を行なう

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

前半（加藤）： オンライン講義ですのでPCの基本的操作に慣れておくこと（各人のスキル以上のことは求めない）。

後半（中山）： 五領域に関する理解が必要なため、保育所保育指針・幼稚園教育要領のなかの五領域に関する箇所を目を通しておくこと。時間は特に定めない。

②使用教科書

前半（加藤）： 新時代の保育1 保育におけるドキュメンテーションの活用 ななみブックレット4 ななみ書房 2016

後半（中山）： 授業時、必要に応じてスライドをデータで配付する。

③参考書 授業時間内に適宜紹介する。

④用意するもの

後半：スケッチブック（B5以上の大きさ）・黒マジック（水性でも油性でもOK）、科学絵本一冊（家にあるものでも、図書館で借りたものでもOK）

⑤成績評価 レポート40%、演習への取り組み50%、授業への積極性10%

⑥学生へのメッセージ

前半、後半を通して、講義とグループワーク、ディスカッションにより学んでいきます。積極的な授業参加により実際の保育についての理解を深める機会となることを期待します。

前半では、PCを使用してグループワークをします（ディスカッション、ドキュメンテーション作成）。それぞれのスキルに違いがありますので、得意な方はPC操作をする、苦手な方は意見をまとめる等、互いに補い、協力しあいながら参加してください。

後半は、表現遊びをPC画面の前で行うため、声を出したり上半身を動かしたりできる環境が必要です。スケッチブックは、ディスカッション及び発表時にフリップボードとして使う予定です。

発達心理学1 (テキスト)

担当教員： 安藤 朗子

1年次～ 必修2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2023年度

概要

発達心理学1では、発達という概念や代表的な発達理論、発達をとらえる方法などの発達心理学の基本を学ぶとともに、人間関係の発達と言語の発達について領域別に学習する。それらの発達に関する知識をもとに、子どもの発達を促す保育や集団での育ちを具体的事例を参照しながら学習する。さらには、子どもを取り巻く環境の問題とそれらの問題解決に向けての支援について考える。テキストの第1、2、3、4、5、10、11、14、15章が学習の対象箇所である。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①発達心理学の意義を理解し説明できる。
- ②生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性や人との相互的にかかわりの重要性について説明できる。
- ③子どもの発達過程と子育てや保育、教育を関連づけて説明できる。
- ④子どもの発達や子育てを取り巻く課題とその支援について説明できる。

学習の進め方

下記の[内容]の掲載順に、章ごとに学習を進める。その際、テキストに掲載されている引用文献・推薦図書をはじめ、各章の内容に関連のある文献を調べ、様々な文献を読むことを通して、理解を深める。レポートの作成にあたっては、下書きを作成し、要点が整理されているか等を確認する。

内容

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. イントロダクションー学習の進め方についてー(学習の手引) | 8. 子育て支援 (第14章) |
| 2. 発達とは何か(第1章) | 9. 保・幼・小連携 (第15章) |
| 3. 発達を支える理論(第2章) | 10. レポートの作成に向けて(1)発達をとらえる方法 (第3章) |
| 4. 人間関係の発達(第4章) | 11. レポート作成に向けて(2)文献収集 |
| 5. 言語の発達(第5章) | 12. レポート作成に向けて(3)観察、調査等のフィールドワーク |
| 6. 発達を促す保育(第10章) | 13. レポート作成に向けて(4)レポートの作成及び推敲 |
| 7. 集団のなかでの育ち(第11章) | 14. 科目修了試験に向けて(1)レポートの添削内容をもとに復習 |
| | 15. 科目修了試験に向けて(2)テキストの総復習 |

テキスト・参考書

①テキスト 子どもの育ちを支える発達心理学 高櫻綾子・請川滋大編著 朝倉書店 2013、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 幼稚園教育要領（平成29年3月告示） 文部科学省

成績評価

①レポート 課題の理解30%、学生自身の学習成果50%、レポートとしての完成度20%

②科目修了試験 論述形式。知識の理解と修得50%、考察力20%、記述力15%、論理的思考力15%により総合的に評価する。

発達心理学2 (テキスト)

担当教員： 本蔵 達矢

1年次～ 必修2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2023年度

概要

人はいかに社会文化的な関係の中で発達していくのか。本科目では、発達心理学の理論だけでなく、子どもの育ち全体を理解し、実際の保育や教育に応用できることを目的とする。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

発達心理学の理論を身につけるとともに、社会の動向や子どもの姿に目を向けながら実践的に考えることを通して理解を深め、理論に即した自分なりの考えをもち、またそれを表現できるようになる。

学習の進め方

テキスト全般を参照し、発達心理学におけるさまざまな領域を理解したうえでそれぞれが相互関連して発達する様子の理解を深める。各章の内容に関する文献・論文を調べて、それらを読むことで理解を深める。各章の内容に関連する資料（新聞、雑誌、実際に見聞きした事例など）を調べ、社会的な動向を踏まえたうえで理解を深める。

内容

- 第6章 発達を支える学習： 発達理論の復習（第2章）／学習理論の理解を深める／現代社会でどのように生かされているか（第13章との関連）
- 第7章 思考と知能の発達： 知能とは何か、どのようにして測定できるか考える／知的な発達のプロセスを知る／ピアジェとヴィゴツキーの発達理論を理解する
- 第8章 自己と感情の発達： 自己の発達を理解する／感情の発達を理解する／自己や感情の発達に関係する子どもの発達について理解を深める
- 第9章 遊びのなかでの育ち： 子どもにとっての遊びの意味を理解する／遊びの発達と知能の発達の間を関連を理解する／子どもの遊びの中での発達を理解する
- 第12章 多様な環境の中で育つ子ども： 子どもの置かれている現代社会の特徴を考える
- 第13章 子ども多様性としての障がいの理解： 保育の場面で問題になる子どもの態度の理解を深める／障がいのある子どもの対応について考える

テキスト・参考書

①テキスト 子どもの育ちを支える発達心理学 高櫻綾子、請川滋大 朝倉書店 2013、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- ①新乳幼児発達心理学—もっと子どもがわかる 好きになる 繁多進監修 福村出版社 2010
 - ②エピソードで学ぶ乳幼児の発達心理学 岡本依子・菅野幸恵・塚田・城みちる 新曜社 2012
 - ③完全カラー図解 よくわかる発達心理学 渡辺弥生 ナツメ社 2021

成績評価

①レポート 課題の理解20%、学生自身の学習成果60%、レポートとしての完成度20%

②科目修了試験 論述形式。理解力、考察力、論理的記述力から総合的に評価。

その他

発達心理学は人間の生涯すべてを視野に入れた学問です。その中でも乳幼児の発達について本科目では学んでいきます。テキスト学習と合わせて、近年の研究や社会的な動向にも目を向け、具体的な事例や自分自身の経験も取り入れて、子ども理解・人間理解を深

めていくことを期待します。この科目は「教職に関する科目」でもあり、教職課程の教育の基礎的理解に関する科目、施行規則に定める科目区分は幼児理解の理論及び方法です。

青年心理学 (テキスト)

担当教員： 尾崎 啓子

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2023年度

概要

青年及び青年心理学に関する基礎的な知見、自己形成や認知といった青年の中核的特徴、青年を取り巻く環境と青年のかかわりや現代の青年をめぐる問題、研究法について学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①青年の心理学的特徴についての基本的知見を理解できる。
- ②現代の青年の諸問題を心理学的に理解できる。
- ③青年心理学の研究方法が理解できる。
- ④序論・本論・結論という形式に則ったレポートが書ける。

学習の進め方

まず、「学習の手引」に従って青年心理学を学ぶ姿勢を理解する。そのうえでテキストに従って、青年期の始まりと終わり、青年、青年期というものの歴史的成立の経緯、青年心理学の歴史と主な理論、青年の自己形成、青年と家族及び社会との関わり、反社会的行動の一つとしての非行、非社会的行動の一つとしてのひきこもりといった現代的な問題に触れ、青年を理解するための心理学的方法について学ぶ。また、レポートの書き方についても参考書で確認し、実践的に身につける。

内容

- | | |
|--|----------------------------|
| 1. 「学習の手引」を熟読し、学習の姿勢を理解する
テキストの内容に従い、 | 9. 非行 |
| 2. 青年期の始まりと終わり、青年期の歴史的成立及び青年心理学の歴史 | 10. 不登校・ひきこもりとその対応 |
| 3. 青年の自己形成 | 11. 性の問題 |
| 4. 認知の発達 | 12. 歴史の中の青年 |
| 5. 家族と青年 | 13. 青年心理学研究の方法 |
| 6. 学校と青年 | 14. テキストのコラム全体に目を通す
さらに |
| 7. 地域社会と青年 | 15. レポートの書き方を各自参考書で学ぶ |
| 8. 就労・労働の問題 | |

テキスト・参考書

①テキスト

やさしい青年心理学 [新版] 白井利明・都筑学・森陽子 有斐閣 2012、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

よくわかる青年心理学 白井利明編 ミネルヴァ書房 2009

レクチャー青年心理学 高坂康雄ほか編 風間書房 2017

レポート・論文の書き方入門 第4版 河野哲也 慶応義塾大学出版会 2018

他、テキストの各章末及び巻末に具体的に書名が挙げられているので、各自検討して参考にすること。

成績評価

①レポート

レポートは科学的論文であるから、①単に自分の印象・感想を述べるのではなく、事実の積み重ねに基づいた記述をすること、②文献を用いて基本的な概念を正しく明確に説明すること、③適切な段落の設定、④適切な段落間の関係、⑤論旨の明確さ、⑥主語述語等が適切に使われていること、⑦誤字や脱字がないこと、⑧剽窃などの不正を行っていないこと、それに関連して⑨引用文献を適切に記載すること、⑩字数を守ること、の10個のポイントに留意して作成すること。それぞれ10%で採点する。ただし、特

に⑧、⑨は社会的なルールであるので重視する。

②科目修了試験

語句の説明問題と論述形式問題が中心。基礎知識や理解力、考察力などから総合的に判断する。

その他

レポートを作成する前に、参考書や文献などでレポートの書き方についてよく学んでください。序論・本論・結論の構成になるよう留意しましょう。レポート評価の大事な観点として、テキストの理解度ををはかることが挙げられます。テキストの内容について理解したことを簡潔にまとめ、その後に疑問や反論・自分の考えなどを、根拠を示して書くように心がけてください。文献から引用した箇所は「 」でくくって、ご自身の文章とは分けて明示してください。レポートの終わりに、引用文献・参考文献を記載することを忘れないようにしましょう。

青年心理学（後期エニタイムスクーリング）

担当教員：尾崎 啓子

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

青年及び青年心理学に関する基礎的な知見、自己形成や認知といった青年の中核的特徴、青年を取り巻く環境と青年のかかわりや現代の青年をめぐる問題、研究法について学ぶ。

授業の方法

【オンデマンド型 (manaba 利用)】

講義動画を視聴する。複数のレポートは期限内の提出が必須である。この「期限内」とは、エニタイムスクーリングの開講期間を指すのではなく、この科目内で設定される各レポートの提出期限を指す。スクーリングの開講期間内に複数の提出期限が設定されるので、注意すること。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ① 青年の心理学的特徴についての基本的知見を理解できる。
- ② 現代の青年の諸問題を心理学的に理解できる。
- ③ 青年心理学の研究方法が理解できる。

授業計画

1. 子どもから大人への移行期としての青年期
2. 青年期の身体的変化と心理的影響
3. 認知と感情の発達
4. 青年の自己形成
5. アイデンティティの発達
6. 家族と青年
7. 学校と青年
8. 青年期の友人関係
9. 青年期における社会性の発達
10. 地域社会と青年
11. 青年のキャリア発達（就労・労働の問題）
12. 青年期の恋愛関係
13. 青年期の社会不適応（非行・不登校・ひきこもりなど）とその対応
14. 青年心理学研究の方法
15. まとめ～現代社会と青年～

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業初日までに必ず manaba を確認し、教科書を読んでおくこと（5時間程度の予習）。

事前課題

特になし

② 使用教科書

レクチャー青年心理学 高坂康雅ほか編著 風間書房 2017

③ 参考書

青年心理学 高橋一公編 サイエンス社 2020

やさしい青年心理学[新版] 白井利明ほか 有斐閣 2012

よくわかる青年心理学 白井利明編 ミネルヴァ書房 2009

レポート・論文の書き方入門 第4版 河野哲也 慶応義塾大学出版会 2018

④ 持参(準備)するもの

特になし

⑤ 成績評価

授業では、区切りの講義動画視聴後の複数のレポートと15回視聴後の最終レポート提出を予定している(それぞれ提出期限あり)。各提出期限締め切り後の提出は受け付けません。1つでも未提出課題があれば不合格とする。

レポートは感想文ではないので、①単に自分の印象や感想を述べるのではなく、統計データの活用など事実の積み重ねに基づいた客観的な記述をすること、②教科書や参考書その他の文献を用いて基本的な概念を正しく明確に説明すること、③適切な段落の設定、④適切な段落間の関係、⑤論旨の明快さ、⑥主語述語などが適切に使われていること、文末に体言止めは使用しない、⑦誤字や脱字、漢字変換ミスがないこと、⑧剽窃などの不正を行っていないこと、それに関連して⑨引用文献と引用箇所を適切に記載すること、引用部分が多すぎないように留意する、⑩字数制限を守ること(長すぎず短すぎないこと)、の10個の観点に留意して作成する。特に⑧と⑨は社会的なルールであるため重視する。レポートの内容と10の観点を総合的に判断して評価する。

⑥ 学生へのメッセージ

青年心理学で学ぶ範囲は広く、教科書や授業で扱う内容はその一部です。発達心理学や人格発達論など他の心理学系の科目とも関連付けて学ぶと、青年期の特徴や発達課題についての理解が深まるでしょう。青年と学校や社会との関係などにも関心を持って学習してください。テキスト科目の「青年心理学」と到達目標はほぼ同じなので、最終レポート課題が科目修了試験に相当すると考えて、真摯に取り組んでください。受講に関する注意事項とレポート課題提出に関するスケジュールは、スクーリング開始前にmanabaに掲載します。また連絡事項はその都度manabaでお知らせしますので、必ず確認するようにしてください。

特記事項 受講者数を100名までとする

児童臨床心理学（前期土曜スクーリング）

担当教員： 尾崎 啓子

3年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

本授業は、主に児童期と思春期の発達と発達課題に対する理解を深め、支援に役立つ知識を得ることを目的とする。子どもをめぐる問題を多面的に理解し、問題に介入するための様々な理論や技法を学ぶ。子どもの心身の発達や適応、家族や学校、社会が子どもの成長にもたらす要因と心理援助的アプローチについて、文献などに掲載された相談事例を紹介しながら具体的に論考していく。海外の子育て支援事情にもふれる。

授業の方法

【同時双方向型の遠隔授業（Zoom）】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ① 臨床心理学における代表的なパーソナリティ理論を学び、理解を深める
- ② 主に児童期・思春期の発達とその心理的問題について理解する
- ③ 主に児童期・思春期の発達課題への心理的援助ならびに援助アプローチについて理解する
- ④ 子育てをめぐる現代的な課題と家族援助について理解し、考察を深める
- ⑤ 学校カウンセリングとスクール・ソーシャルワーク、ならびに医療や地域社会との連携について理解する

授業計画

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 臨床心理学とは何か
構造・歴史・基本理論 | 8. 問題に介入する（1）
様々な理論モデル |
| 2. 問題を理解する（1）
子どもをどうとらえるか | 9. 問題に介入する（2）
個人を対象とした介入技法 |
| 3. 問題を理解する（2）
アセスメントの目的とデータの収集技法 | 10. 問題に介入する（3）
集団・社会を対象とした介入技法 |
| 4. 問題を理解する（3）
データの分析技法 | 11. 問題に介入する（4）
コミュニティにおける相談活動 |
| 5. 問題を理解する（4）
精神障害と薬物療法 | 12. 子育てをめぐる問題と援助 |
| 6. 問題を理解する（5）
ライフサイクルと心理的問題 | 13. 現代に生きる子どもたち |
| 7. 問題を理解する（6）
発達過程で生じる障害や問題 | 14. 臨床心理学研究の課題と方法 |
| | 15. 海外の子育て支援事情 |
- 一日2～3項目分について講義する。

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業では焦点を絞り具体的な事例をあげながら講義するので、教科書の内容全体に触れることはできない。したがって教科書に一度目を通しておくと、理解が促進される。

② 使用教科書

よくわかる臨床心理学[改訂新版] 下山晴彦編 ミネルヴァ書房 2019（初版第14刷）

③ 参考書

子どものこころ 児童心理学入門[新版] 櫻井茂男・濱口佳和・向井降代著 有斐閣アルマ 2022（新版第6刷）

子どものための精神医学 滝川一廣 医学書院 2017

④ 準備するもの 指定なし

⑤ 成績評価

スクーリングの最終日に100分の論述試験をおこなう（manaba提出）。講義した内容の中から、あるテーマについて論じてもらうもので、各自がどれほど自分の考えでまとめることができるかが重要なポイントとなる。出席も重視する。

⑥ **学生へのメッセージ**

毎回、授業の最後に受講者同士によるディスカッションと質疑の時間を設けます。積極的に参加してください。

表現アートセラピー基礎 (テキスト)

担当教員： 濱中 寛之

1 年次～ 選択 2 単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2023 年度

概要

表現アートセラピーとは、様々な表現（絵や粘土、コラージュ、ダンス・ムーブメント、声や音楽、ドラマ、ライティングなど）を用いる統合的芸術療法である。アート表現は、人の持つ可能性を賦活するものとして近年注目されている。この科目では、表現アートセラピーがどのような療法であり、どのような特徴を持つのかについて全体像をつかむ。テキストの実例から表現アートセラピーの実践について学び、心理的成長のプロセスを理解し、自己の心理的成長について考える。アートセラピスト・カウンセラー（臨床心理士）としての経験と実践を踏まえて、添削指導に当たる。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕対象科目

授業の方法

【印刷教材等】

テキストや参考書に基づく自主学習を行う。レポート課題の提出、レポートの添削指導を受け理解を深める。またレポート提出には LMS (manabe) の利用も可能。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①非言語的表現（絵やムーブメントなど）を用いる芸術療法の特徴、利点を理解する
- ②表現アートセラピーを通しての、心理的成長とはどのようなものなのかを学び、自己を振り返る作業をする。教師や対人援助職につく者が自己理解を深めることは重要である
- ③パーソンセンタード表現アートセラピーの特徴を理解する

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進めながら、参考文献に当たり理解を深める。実例を読みながら自らを振りかえる作業を進める。レポート課題を確認し、その課題についてまとめる。その際必ずレポート課題集のアドバイスと別冊の「学習の手引き」を読んでから書くこと。

内容

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 表現アートセラピーとはどのような芸術療法なのか | 9. 声・音・音楽 |
| 2. 表現アートセラピーは実際どのように行われるのか | 10. ドラマ |
| 3. 表現アートセラピーにおける自己回復と成長のプロセス | 11. 表現アートセラピーの歴史と哲学 |
| 4. 事例から学ぶ① | 12. ナタリー・ロジャーズについて |
| 5. 事例から学ぶ② | 13. パーソンセンタード表現アートセラピーとは |
| 6. 視覚的アート | 14. 表現アートセラピーの適用 |
| 7. ライティング | 15. 表現アートセラピーの応用 |
| 8. ダンス・ムーブメント | |

テキスト・参考書

- ①テキスト 表現アートセラピー入門 小野京子 誠信書房 2005、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 癒しと成長の表現アートセラピー 小野京子 岩崎学術出版社 2011

成績評価

- ①レポート 課題の理解 50%、学生自身の学習成果 30%、レポートの完成度 20%

- ②科目修了試験 内容の基礎的な理解と考察力などから総合的に評価する。

その他

レポート課題集の「アドバイス」と「学習の手引」を必ず読んで、レポートを書いてください。

芸術療法の実例と自分を重ね合わせて、自身についての発見があるように学習を進めてください。

「表現アートセラピー1」で基本的な実習を行うので、実際像をつかむために両方の科目履修が望ましい。

表現アートセラピー1（夏期スクーリング）

担当教員： 濱中 寛之

1年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

表現アートセラピーとは、様々な表現（絵や粘土、コラージュ、ダンス・ムーブメント、声や音楽、ドラマ、ライティングなど）を用いる統合的芸術療法である。芸術療法と表現アートセラピーの理論的基礎を学び、パーソンセンタード表現アートセラピーの基礎的な演習を行う。アートセラピスト・カウンセラー（臨床心理士）としての経験と実践を踏まえた授業を行う。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom利用）】

全日 zoomによる同時双方向の授業を行う。講義と演習（表現アートセラピーのエクササイズ等）を交互に行う。適宜小グループに分かれてディスカッションを行い理解を深める。

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ①人間性心理学に根ざす心理療法や芸術療法を理解する
- ②パーソンセンタード表現アートセラピーを理解する
- ③教師や対人援助職に必要なカウンセリングマインドの態度と内省力を身につける
- ④表現アートセラピーの実習を通して表現アートセラピーの実際を学び、自分自身についての理解を深め自己成長を図る

授業計画

1. 心理療法とは
2. 表現アートセラピーとは
3. 表現アートセラピーにおける心理的成長の事例 (1日目午前：ZOOMで授業)
4. 人間性心理学とは
5. 心理的成長とは (1日目午後：ZOOMで授業、manabaでリアクションペーパー)
6. カール・ロジャーズとカウンセリング理論
7. パーソンセンタード・アプローチの理解 (2日目午前：ZOOMで授業)
8. パーソンセンタード表現アートセラピーとは
9. 精神科におけるパーソンセンタード表現アートセラピー (2日目午後：ZOOMで授業、manabaでリアクションペーパー)
10. 高齢者に対するパーソンセンタード表現アートセラピー (3日目午前：ZOOMで授業)
11. パーソンセンタード表現アートセラピー演習(1)絵画
12. パーソンセンタード表現アートセラピー演習(2)ムーブメント
13. パーソンセンタード表現アートセラピー演習(3)物語を書く
14. パーソンセンタード表現アートセラピー演習(4)その他
15. ディスカッション・まとめ (3日目午後：ZOOMで授業、manabaでリアクションペーパー)

(内容は前後することがある。11～14の演習は、適宜授業に入れ込んでいく)

全日 Zoomで授業を行います。manabaで、リアクションペーパー（その日学んだこと、質問など）を書いてもらいます。

最終日は、manabaで試験を行います。資料・ノート等見る可。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

「表現アートセラピー基礎」を未履修の人は、『表現アートセラピー入門 小野京子 誠信書房』を必ず読んでおくこと。

教科書をスクーリングまでに熟読し、わからないところを書き出しておくこと。15時間程度。

②使用教科書 癒しと成長の表現アートセラピー 小野京子 岩崎学術出版社 2011

③参考書 表現アートセラピー ナタリー・ロジャーズ 誠信書房

- ④準備するもの 16色程度のクレヨンかクレパス（クーピーや色鉛筆は不可）、F4サイズのスケッチブック、のり、はさみ、セロテープ、メモ用紙、筆記用具、コピー用紙（白い紙ならなんでもよい）を3～4枚、折り紙、紙粘土
コラージュ用に雑誌を3冊くらい（旅行パンフレットやフリーペーパーのようなものでも良い）
※購入する必要がある場合は、100円ショップで購入できるような材料で大丈夫です。

- ⑤成績評価 授業・演習への参加態度（30%）、授業内でのレポート（20%）、最終日の試験（50%）

⑥学生へのメッセージ

欠席や遅刻をすると授業についていくのが難しくなります。表現活動を通して自己の内面を探求し、人と関わる中で心理的な成長を図りたいという意志を持って受講してください。自己と向き合う作業には心理的エネルギーが必要ですので、心の準備ができている方が受講してください。絵画や文章表現のほか、ムーブメントなど、体を動かす実習も行います。

この授業では、プライバシーに配慮しています。ZOOMで授業を受ける時には、必ず一人で過ごせる部屋でZOOMを利用してください。家族や他の方との共有スペースなどプライバシーが守れないZOOM利用はしないでください。

表現アートセラピー2（夏期スクーリング）

担当教員： 笠井 綾

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

「表現アートセラピー1」で学んだことを基盤に、芸術療法や表現アートセラピーの理論と実践をさらに深める。表現アートセラピーのより深い演習を通して、自己の心理的成長を図り、表現アートを安全な環境で提供する方法を学ぶ。表現アートセラピスト・カウンセラー（公認心理師）としての経験と実践を踏まえた授業を行う。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom 利用）】

全日 zoom による同時双方向の授業を行う。講義と演習（表現アートセラピーのエクササイズ等）を交互に行う。適宜小グループに分かれてディスカッションを行い理解を深める。

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ①芸術療法の理論とプロセスを理解する
- ②表現アートセラピーの理論と実際を理解する
- ③安全な環境をいかに提供するかを身につける
- ④自己の心理的成長を図る

授業計画

Zoomによる同時双方向型授業を行う。

（第1日）

1. 芸術療法の理論
 2. 表現アートセラピーの理論
 3. ナタリー・ロジャーズの表現アートセラピー
 4. 傾聴訓練・カウンセリングマインドを磨く
 5. 安全な環境を提供するには
 6. カウンセリングへ表現アートセラピーを導入
- （第2日）
7. 絵画テストとの比較
 8. ムーブメント・ドラマ演習
 9. ライティング演習
 10. 粘土やコラージュ演習
 11. 事例研究（子ども、緩和ケア、ソーシャルチェンジなど）

（第3日）

12. クリエイティブコネクション
13. ディスカッション
14. 物語作りと発表
15. まとめ

（内容・演習が前後する場合があります）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

「表現アートセラピー1」を修得済であることから、同科目で学習したことを復習しておくこと。15時間程度。

事前課題 『表現アートセラピー入門』と『癒しと成長の表現アートセラピー』を読んでおくこと。

②使用教科書 癒しと成長の表現アートセラピー 小野京子 岩崎学術出版社 2011

③参考書 表現アートセラピー ナタリー・ロジャーズ 誠信書房 芸術と心理療法 ショーン・マクニフ 誠信書房

④準備するもの 16色程度のクレヨンかクレパス、F4のスケッチブック、コラージュ用雑誌2～3冊、紙箱（お菓子の箱、ゆうパックの箱など）のり、はさみ、セロテープ、新聞紙、紙粘土または彫塑用粘土一個。

⑤成績評価 授業・演習・ディスカッションへの参加（30%）小レポートの提出（30%）最終試験（40%）

⑥学生へのメッセージ

自己の内面を探る自己探求的なプロセスを演習を通して学びますので、自分と向き合う意思があり、心身が安定していることが必要です。自分と向き合う作業は、楽しいことばかりではありません。時期を選んで受講してください。

応用表現アートセラピー（集中スクーリング）

担当教員：檜森 秀子

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

アート表現を教育に用いるメソッドであるアーツ・インテグレーションの理論と実際を学ぶ。アーツ・インテグレーションの例としては、ダンス表現を使って数学を学ぶ、詩作から社会科を学ぶ、ドラマ表現を使って理科を学ぶなどである。教科の学習にアート表現を取り入れることで、生徒の好奇心を刺激し、学習効果が上がる。多様な学習スタイルを持つ子どもに対応し、発達障がいなど、障がいを持つ子どもの学習支援にもなる。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom利用）】

全日 zoom による同時双方向の授業を行う。講義と演習（アーツ・インテグレーションのエクササイズ等）を交互に行う。適宜小グループに分かれてディスカッションを行い理解を深める。

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ①アーツ・インテグレーションの理論と実際を理解する
- ②アート表現を用いての学習促進を理解する
- ③アーツ・インテグレーションを用いた授業プランを考える

授業計画

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1. アーツ・インテグレーションとは何か | 10. 自由で安全な場をどう作るか |
| 2. マルチプル・インテリジェンス（多元知能）理論 | 11. 小グループ演習2 |
| 3. カナダやアメリカでのアーツ・インテグレーション教育 | 12. プレゼンテーション1 |
| 4. モデル授業1（第1日） | 13. プレゼンテーション2 |
| 5. カナダの実例（実際の授業風景DVDを見る） | 14. ディスカッション |
| 6. 様々なモダリティの使い方（ビジュアルアート、ダンス・ムーブメント、音楽、ドラマ、ストーリーテリングなど） | 15. まとめ、振り返り（第3日） |
| 7. モデル授業2 | （内容・演習が前後・変更する場合があります） |
| 8. 認知特性を生かした学び | 3日とも zoom で授業、小グループディスカッションの後、manaba |
| 9. 小グループ演習1（第2日） | でその日学んだこと、質問などを書いてもらいます。 |
| | 最終日は、manaba で試験を行います。資料・ノート等見ること可。 |

受講にあたって

①**準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間** 「表現アートセラピー基礎」「表現アートセラピー1」のどちらかを既に履修済であること。「表現アートセラピー基礎」を未受講の人は、『表現アートセラピー入門』を、「表現アートセラピー1」を未受講の人は、『癒しと成長の表現アートセラピー』を読んでおくこと。15時間程度。

②**使用教科書** なし

③**参考書** なし

④**準備するもの** 16色程度のクレヨンかクレパス、白い色鉛筆または金か銀のペン、F4サイズのスケッチブック、黒が入っている色画用紙セット、折り紙、毛糸（数色）、のり、はさみ、セロテープ、新聞紙、割り箸数本、綿棒、コンパス、定規、軽量紙粘土（ほとんど百円ショップにあります）、

⑤**成績評価** 出席・授業と演習への参加態度（40%）最終試験（40%）プレゼンテーション（20%）

⑥**学生へのメッセージ** 今まで教育に関わりがない方、教科を教えたことがない方も受講できます。自分の創造性も高められます。身近にいる子ども、塾や教育現場等で指導できるように意識を高くもって学んでください。

基礎カウンセリング1 (テキスト)

担当教員： 尾崎 啓子

1年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2023年度

概要

教師や保育士、看護師、カウンセラー、福祉職などの対人援助職には、相手を受け止め、共感的に話を聞く態度やスキルが必要である。相手に関心を向けて共感的に理解しようとする態度は、子どもと接する者にとっても大切である。「基礎カウンセリング1」では、カウンセリングの基礎となる人間観・心理学理論・基本的な技法について学び、共感的に人を受け止め傾聴するための基盤を作る。ロールプレイングなどの練習を通して体験的に傾聴を学ぶ「基礎カウンセリング2」の履修に備える。カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）としての経験と実践を踏まえて、添削指導に当たる。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕 対象科目)

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ① カウンセリングにおける3つのアプローチ（精神分析的アプローチ、認知行動療法的アプローチ、クライアント中心療法）を中心に、カウンセリングの諸理論に関する知識を深め、理解する
- ② クライアント中心療法の本質を理解する
- ③ カウンセラーに必要な態度、傾聴とはどのようなものなのかを理解する
- ④ カウンセラーの心構えと職業倫理についても学ぶ

学習の進め方

まずテキストを読み進めながら、参考書である『新・カウンセリングの話』と他の参考書を読み、カウンセリングの諸理論やクライアント中心療法についての理解を深める。次にレポート課題に沿って内容を確認し、レポートを書く。

内容

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. カウンセリングとは何か | 6. 傾聴とはどのような態度か |
| 2. 精神分析的アプローチ | 7. カウンセリングと類似の支援との違い |
| 3. 認知行動療法的アプローチ | 8. カウンセラーの心構えと職業倫理 |
| 4. クライアント中心療法（来談者中心療法） | |
| 5. カール・ロジャーズのカウンセリング | |
| (1) 無条件の積極的関心 | |
| (2) 共感的理解 | |
| (3) 一致 | |

テキスト・参考書

- ①テキスト はじめてのカウンセリング入門（下）ほんものの傾聴を学ぶ 諸富祥彦 誠信書房 2010（pp.126～179を除く）
テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

新・カウンセリングの話 平木典子 朝日新聞出版（テキストと合わせて、必ず読むこと） 2020

ロジャーズ クライアント中心療法 ―カウンセリングの核心を学ぶ―新版 佐治守夫・飯長喜一郎編著 有斐閣 2011

成績評価

- ①レポート 課題の理解50%、学生自身の学習成果30%、レポートの完成度20%

②科目修了試験 語句や人名の説明問題など論述形式が中心。カウンセリングにおける3つのアプローチの立場から、事例に対する対応の違いを問う問題が出題される回もある。基礎知識や理解力、考察力などから総合的に判断する。なお、試験範囲には『新・

カウンセリングの話』の内容も含めるので、テキストと同様に、よく読んで学んでほしい。

その他

カウンセラーとはどのような存在なのか、相手を共感的に理解しサポートするためには、どのような心構えと態度が必要なのかを学んでください。レポート作成に際しては、『レポート課題集』のアドバイスに従ってください。一題2,000字程度で書くこと。

基礎カウンセリング2（夏期スクーリング）

担当教員： 尾崎 啓子

2年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

教師や保育士、看護師、カウンセラー、福祉職などの対人援助職には、相手を受け止め、共感的に話を聞く態度やスキルが必要である。相手に関心を向けて共感的に理解しようとする態度は、子どもと接する者にとっても大切である。「基礎カウンセリング2」では、「基礎カウンセリング1」において学んだ知識をもとにして、リスニング練習やロールプレイングを行うことにより、傾聴を主としたカウンセリング技術の習得を目指す。カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）としての経験と実践を踏まえた授業を行う。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ①カウンセリングマインドの必要性を理解する
- ②リスニングスキルの習得
- ③自己受容と他者受容の向上

授業計画

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 基礎カウンセリング1の復習と補足 | 5. 傾聴練習 |
| 2. カウンセリングマインドの必要性 | 6. ロールプレイング |
| 3. カウンセラーに必要な態度 | 7. グループワーク |
| 4. 傾聴とロールプレイング練習の目的と意義 | 8. まとめ |

全日対面で授業を行います。授業中や終了時に質問にお答えします。最終日に試験を行います。資料・ノート等見ることは可とします。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

使用教科書『はじめてのカウンセリング入門 下』（諸富祥彦 誠信書房）、参考書『新・カウンセリングの話』（平木典子 朝日新聞出版）、「基礎カウンセリング1」の参考書を再度読んでおくこと。準備学修として合計15時間程度。

②使用教科書 『はじめてのカウンセリング入門 下』 諸富祥彦 誠信書房 2010

③参考書 『はじめてのカウンセリング入門 上』 諸富祥彦 誠信書房 2010

『新・カウンセリングの話』 平木典子 朝日新聞出版 2020

『プロカウンセラーの聞く技術』 東山紘久 創元社 2000

④準備するもの 教科書

⑤成績評価 授業や演習への参加態度 50% 最終試験 50%

⑥学生へのメッセージ

「基礎カウンセリング1」を修得済であること。

心をオープンにして、カウンセリングに必要な基礎技術と態度を学びましょう。積極的に参加してください。

分析的アートセラピー(描画) (集中スクーリング)

担当教員： 倉石 聡子

2年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

上級編として、心理療法理論と実践を統合するための授業である。対人支援の基礎となる臨床心理学の知識と臨床場面でアートを用いる上で必要な臨床アートセラピーの理論に触れる。科目名は「分析的アートセラピー」であるが、描画査定や描画分析のように作品を一方向的に分析・解釈する手法を学ぶのではなく、作品や創作プロセスから何を読み取り、どのように支援に生かすのか、基本的な考え方と関わり方を学ぶ。

また、絵を描く過程で画材が刺激となり感情や無意識が動き、それらを紙の上に表現したり、作品を振り返ったりすることで、感情発散や自己洞察の効果が期待できる。演習を通して、これらの効果を体験的に感じ取っていく。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【同時双方向型(manaba、Zoom利用)】

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ① アートを対人援助に生かすための基本態度や理論を理解する
- ② 学んだことを実際の場面に照らし合わせることができる
- ③ 演習により自らの感情や思考の変化などを振り返ることができる

授業計画

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. ガイダンス、臨床アートセラピーの理論 | 【第1日目 Zoom】 |
| 2. 子どものアートセラピーの実践 | 【第1日目 Zoom と manaba の併用】 |
| 3. 描画における画材とその影響 | 【第1日目 Zoom と manaba の併用】 |
| 4. 描画のテーマと目的 | 【第2日目 Zoom】 |
| 5. 子どものアートセラピーの事例 | 【第2日目 Zoom】 |
| 6. グループワークの多様な形式 | 【第2日目 Zoom と manaba の併用】 |
| 7. グループワークの事例 | 【第2日目 Zoom】 |
| 8. グループワークのプランニング | 【第2日目 Zoom と manaba の併用】 |

重要：manaba は常時使用します。ガイダンスは必ず出席してください。

講義資料PDF はすべて manaba から配信します。感想、レポート、アンケート提出はすべて manaba から行います。

受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 特になし
- ②使用教科書 なし
- ③参考書 子どものアートセラピー実践ガイドー発達理論と事例を通して読み解くー アネット・ショア 金剛出版
- ④準備するもの 2B鉛筆、消しゴム、色鉛筆12色以上、カラーマーカー12色以上、クレヨン12色以上、B4または八切りのスケッチブック(簡単に切り離せるもの)。
- ⑤成績評価 授業への参加状況及びレポートや課題提出により評価する。試験は行わない。
- ⑥学生へのメッセージ(重要)
 - ★manaba にコース登録されたら、「コースニュース」をこまめにチェックしてください。事前の重要連絡をいたします。
 - ★manaba では、リマインダー設定(もっとも使用するメールアドレス登録)を必ずしてください。
 - ★各自wifi環境の整備、@SSのシステム利用の手引きからマニュアルをよく読んで、manabaの習熟をお願いします。
 - ★原則的に、授業時間内にすべて(講義、質問、ブレイクアウトセッション、レポート送信まで)を完結します。対面と同様に授業時間内に集中して学んでください。

幼児教育方法論（テキスト）

担当教員： 請川 滋大

2年次～ 必修2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2023年度

概要

この科目では、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、幼児期の教育方法及び技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。学習の軸は下記の3つとし、これらに基づいて具体的な授業を進めていく。

- (1) これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育方法を理解する。
- (2) 幼児教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。
- (3) 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ① これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解している。
- ② 幼児教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けている。
- ③ 情報機器を活用した効果的な授業や適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付けている。

学習の進め方

「学習の手引」にしっかりと目を通した上で、テキストを用いた学習を進めて欲しい。適宜、参考書など他の文献も活用するとよい。

内容

1. 幼児教育の方法についての基礎的理論と実践①歴史的な視点
2. 幼児教育の方法についての基礎的理論と実践②日本国内の様々な実践
3. 幼児教育の方法についての基礎的理論と実践③諸外国の幼児教育法とその考え方
4. 今後の子どもたちに求められる資質・能力を育成する教育方法の在り方①主体的・対話的な学びとは？
5. 今後の子どもたちに求められる資質・能力を育成する教育方法の在り方②「深い学び」をどう実践するか？
6. 主体的・対話的な学び、深い学びを実践するための幼児教育環境の在り方（園庭・保育室・教材など）
7. 幼児教育において育みたい資質・能力と幼児理解①「3つの柱」と「10の姿」及びそれらに基づいた評価の基礎的な考え方
8. 幼児教育において育みたい資質・能力と幼児理解②記録を基にした幼児理解と教育実践、教育評価
9. 幼児教育を行う上での基礎的な技術（対話的な関係を構築）
10. 幼稚園等における指導計画の作成①PDCAの考え方
11. 幼稚園等における指導計画の作成②記録と評価に基づいた長期・短期の計画
12. 情報機器の効果的な活用①タブレット等による記録方法
13. 情報機器の効果的な活用②深い学びとICTの活用
14. 情報機器の効果的な活用③写真を活かしたドキュメンテーションの作成
15. 情報機器の効果的な活用④ラーニングストーリーの書き方

テキスト・参考書

- ①テキスト ①未来を拓く保育の創造 大桃伸一(編) 学術図書出版 2019
②幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 2018、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 保育におけるドキュメンテーションの活用 請川滋大ほか編著 ななみ書房 2016

成績評価

- ①レポート 課題の理解40%、自己学習の成果40%、レポートの体裁20%
- ②科目修了試験 論述形式。論理的思考力40%、基礎知識30%、記述力30%

その他

「学習の手引」を有効に活用することを常に念頭に置いてもらいたい。

「発達教育論」の科目名変更： 「発達教育論」履修済みの者は履修不可

保育・教育課程論 (テキスト)

担当教員： 請川 滋大

2年次～ 必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

保育は、子どもを人間として尊重しその最善の利益を守り、よりよい成長・発達を助長する営みである。これらの目的を実現するため、保育者は日々さまざまな方法を考え工夫しながら子どもと関わっていかねばならない。

以上のような問題意識から、本科目では幼稚園教育要領を基準として各園において編成される保育・教育課程について、その意義や編成の方法を理解すると共に、各園の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することを目的とする。

また、幼児期を中心に園生活の代表的な保育・教育の内容や活動を例にとり、その援助並びに指導の原理や展開について学んでいく。

(1) 保育・教育課程の意義及び編成の方法について学ぶ。：幼稚園や保育所におけるカリキュラムはどのような意義を持つのか。それらの編成はどのような法的根拠に基づいて行われているのか。幼稚園教育要領や保育所保育指針を参照しながら学習していく。

(2) 保育・教育課程の指導方法について学ぶ。：これまで保育施設においてはカリキュラムをしっかりと組んだ保育法から、より子どもの自発性を尊重したカリキュラムまでその幅は広がった。カリキュラムはどのように達成されていくのが望ましいのか。またカリキュラムを用いることでどのような効果が期待されるのか。保育施設での実践を想定しながら学んでいく。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ① 就学前教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解している。
- ② 保育・教育課程編成の基本原則及び幼稚園等の教育実践に即した保育・教育課程編成の方法を理解している。
- ③ 領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、幼稚園等の教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解している。

学習の進め方

まずは「学習の手引」にしっかりと目を通し、それからテキストを用いた学習を進めて欲しい。適宜、参考書など他の文献も活用するとよい。その他の文献も用いる。

内容

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 1. カリキュラムの基礎理論 | 9. 指導計画の作成 |
| 2. 保育課程・教育課程の意義 | 10. 指導計画の実際 |
| 3. 保育・教育課程の変遷 | 11. 保育記録・保育評価 |
| 4. 保育・教育課程の編成 | 12. 保育所及び幼稚園の自己評価 |
| 5. 指導計画の基礎 | 13. 幼保小の連携 |
| 6. 子どもの育ち・年齢別発達のポイント | 14. 幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録・認定こども園こども要録 |
| 7. 保育課程と保育 | 15. 各園の特徴を生かしたカリキュラムマネジメント |
| 8. 教育課程と保育(実際の事例) | |

テキスト・参考書

①テキスト 保育・教育カリキュラム論 佐藤康富(編著) 大学図書出版 2020、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 2018

成績評価

- ①レポート 課題の理解 40%、自己学習の成果 40%、レポートの体裁 20%
- ②科目修了試験 論述形式。論理的思考力 40%、基礎知識 30%、記述力 30%

その他

「学習の手引」を有効に活用することを常に念頭に置いてもらいたい。

「保育課程論」の科目名変更： 「保育課程論」履修済みの者は履修不可

保育内容総論（夏期スクーリング）

担当教員： 羽路 久子

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

幼稚園における保育内容は、子どもの園生活の全てを含むものであることを理解し、どのような仕組みで子ども達の発達を支えているのかを学ぶ。具体的には、実践事例やDVD等を通して、子ども理解を深め、幼児の自発的活動としての主体的に行われる遊び、保育者の援助、環境構成、指導計画のあり方などについて、理解していく。

授業の方法

【面接】

6日間とも対面での授業を行い、講義と共に学生同士等の話し合いや子どもの姿の事例、DVDをみながら理解を深める。

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①幼稚園における保育内容に対する正しい理解を行う。
- ②幼児期における遊びや生活の重要性を理解する。
- ③保育者の援助について学ぶ。

授業計画

1日目	4日目
1. 幼稚園教育の基本	8. 教育課程と保育内容
2. 保育内容の捉え方	9. 指導案について
2日目	10. 指導案作成
3. 遊びや生活から捉えられる保育内容	5日目
4. 発達から捉えられる保育内容	11. 様々な配慮を必要とする子どもの園生活と保育内容
5. 幼稚園施設見学（附属豊明幼稚園）	12. 幼稚園と家庭との連携
3日目	13. 幼稚園と小学校との接続（10の姿）
6. 保育内容 5領域の捉え方 「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」	6日目
※大学院生の研究の話	14. 保育者の専門性
7. 主体的・対話的で深い学びについて	15. 社会の変化と今日的課題

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

自分の子ども時代を思い出すことや、心が動き、自分で何かを意欲的にした時はどういった時かを再考する。

それに基づき「主体的・対話的で深い学び」についても考える。必要な時間は定めず、レポート提出もなし。

- ②使用教科書 ①保育内容総論(乳幼児教育・保育シリーズ) 神永美津子・津金美智子・田代幸代編著 光生館
②幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館

- ③参考書 授業の中で適宜紹介

- ④準備するもの 教科書、筆記用具 2日目(室内履き準備・平らな靴を履いてくること)

- ⑤成績評価 授業参加・発表等50% レポート・50%で評価をする。レポートとは、何回かの提示された課題、最終日の課題で評価を行い、筆記試験は行わない。

- ⑥学生へのメッセージ 学生さんと共に考え、対話をしながら、保育の楽しさを伝えられる授業にしていきたい。

乳幼児教育論（テキスト）

担当教員： 本江 理子

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2023年度

概要

乳幼児の教育・保育について、幼児教育・保育の概念、乳幼児の育ちの現状、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、乳幼児の生活環境、幼保小の連携、保育者の資質向上、子育て支援、多様な保育の展開など、幅広い視野から学ぶことを目的とする。
 （「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①今日の乳幼児を取り巻く諸状況を多角的に理解する。
- ②乳幼児の育ちに求められる諸条件について、理論的、実践的に理解する。

学習の進め方

1. テキストの目次から内容を概観し、全体像をつかむ。レポートの課題をふまえて、テキストの学習を進める。
2. 「レポート課題」に示されている「参考書」などを読み進め、文章の書き方、引用の方法なども学ぶ。
3. レポートの作成を行う。その際、必ず複数の関連文献を読み、引用部分を「」でくくって明記しながら、根拠を示す。
4. レポートに合格したら、科目修了試験に向けて、テキストを今一度通読して内容を確認し、さらに関連文献を読み進める。
5. レポート不合格の場合は、添削されている注意点に関して丁寧に見直しをし、改善できるよう1.～3.をくり返す。

内容

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 保育内容の歴史的変遷と社会的背景
ー現代の諸問題もふまえてー | 8. 地域や家庭との連携 |
| 2. 3法令改訂・改定のポイント | 9. 環境を通して行う保育 |
| 3. 園生活をイメージする | 10. 主体的な遊びを支える環境 |
| 4. 遊びや生活を通して学ぶということ | 11. 個と集団の育ちを支える保育 |
| 5. 養護と教育が一体的に展開する保育 | 12. 子どもを見るまなざし |
| 6. 子どもの主体性を尊重する保育 | 13. 多文化共生の保育 |
| 7. 子育て支援を考える | 14. 特別な配慮を要する子どもの保育 |
| | 15. 小学校への接続をふまえた保育 |

テキスト・参考書

①テキスト 新しい保育講座④ 保育内容総論 渡邊英則・大豆生田啓友編著 ミネルヴァ書房 2020

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- ①幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 2018
 - ②保育所保育指針解説 厚生労働省 フレーベル館 2018
 - ③幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館 2018
 - ④イラストで読む！ 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 はやわかり BOOK 無藤隆・汐見稔幸編著 学陽書房 2017

成績評価

- ①レポート 課題の理解20% 「ねらい」「アドバイス」の活用20% 自己学習の成果40% レポートとしての完成度20%
- ②科目修了試験 論述形式の出題とし、知識40% 理解30% 論理的思考力20% 記述力10%の割合で評価する。

その他

- ・「子ども」に関するあらゆる情報を敏感にキャッチし、楽しんで学習を進めてください。
- ・平成29年告示の3法令（指針や要領）改訂・改定に関しても、理解を深めておいてください。

子どもとマルチメディア（集中スクーリング）

担当教員：甲斐 聖子

3年次～ 選択2単位 【認定絵本士】

スクーリング科目／2023年度

概要

この授業では、児童文化財の中でもアニメーションを中心に学んでいきます。国内外のさまざまなアニメーションに触れ、その豊かな世界を味わうとともに、絵本や漫画といった他のメディアとの関連性について考えます。

この授業は、認定絵本士資格に関わる科目のひとつになっています。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ① 鑑賞・製作のプロセスを通して、アニメーションというメディアが分かるようになる。
- ② 様々なメディアそれぞれの特性を理解できる。
- ③ 子どもをめぐる映像文化の状況を多様な角度から考察することができる。

授業計画

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. イントロダクション 授業計画詳細の説明 | 10. タブレット端末を使ってのアニメーション製作②
(撮影・編集) |
| 2. アニメーションとは何か① (アニメーションのしくみを知る) | 11. アニメーション作品の発表会 |
| 3. アニメーションとは何か② (視覚玩具製作) | 12. 子どもとアニメーション【⑮子供の心をとらえるもの(子供の心をとらえて離さないもの)】 |
| 4. アニメーションの歴史 | 13. ワークショップの企画を立てよう【⑯絵本の世界を広げる技術②(ワークショップ)】 |
| 5. 鑑賞①平面アニメーション | 14. インタラクティブメディアとしての絵本・アニメーション【⑰絵本各論④(メディアとしての絵本の位置づけ)】 |
| 6. 鑑賞②半立体・立体アニメーション | 15. 空間メディアとしての絵本(ゲストスピーカー回【⑱ホスピタリティに学ぶ(人を楽しませる為の手法を学ぼう)】) |
| 7. 鑑賞③少国民文化財としてのアニメーション | |
| 8. 日本アニメーションの歴史 | |
| 9. タブレット端末を使ってのアニメーション製作①
(計画・構成) | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

子どもをめぐる文化における様々なメディアの働きについて、日常的に多くの関心を寄せ、興味を持って具体的な事象を観察、考察してください。また、授業中に、次の授業までに必要な予習・復習について指示します。1回の授業につき、予習・復習あわせて1時間程度。

事前課題 特にありませんが、日頃から目に入ってくる映像に注目してみましょう。

②使用教科書 授業に必要な資料等は配付します。

③参考書 「認定絵本士養成講座テキスト」中央法規

④準備するもの スマートフォン(タブレット型端末) 文房具(のり、はさみ、カラーペンなど) 授業初日に案内をします。

⑤成績評価 授業参加・発表50% 製作課題・レポート50%とあわせて総合的に判断する。

⑥学生へのメッセージ

映像鑑賞・製作を通して学生同士のディスカッションの場も積極的に設けます。授業に主体的に参加できる方の受講をお待ちしています。

特記事項 認定絵本士指定科目。正科生のみ履修可。受講者数を50名までとする。2021年度以降入学者を優先。

音楽表現（夏期スクーリング）

担当教員： 根津知佳子・入江薫子・和田朝美

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2023年度

概要

領域「表現」の指導に必要な知識を身に付けるとともに、保幼小連携を視野に入れた表現活動を指導・支援することのできる技能を身に付ける。

授業の方法

【面接】

初回授業までにmanabaに事前課題を提出する（下記の受講にあたって参照のこと）

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ①乳児期から児童期までの音楽表現を支えるための指導・支援に必要な基礎的な知識を理解することができる。
- ②乳幼児期の表現活動を支える基礎的な技能を習得することができる。

授業計画

受講初日までに事前課題をmanabaに提出する。6日間を通して、全体授業、ピアノおよび声楽（弾き歌い）の個人レッスン（グループ学習）、および合唱指導を行う。授業全体を通して、相互学習を重視する。

- 第1日
1. オリエンテーション
 2. 弾き歌いの基礎知識：①ハ長調・ト長調（主音・属音・下属音・導音）
 3. 弾き歌いの基礎知識：②（和音のしくみ・主要3和音と転回形）
- 第2日
4. 弾き歌いの基礎知識：③へ長調（主音・属音・下属音・導音）
 5. 表現指導・支援の技法：①コード（ハ長調）の応用
- 第3日
6. 弾き歌いの発展：季節の歌（春夏）
 7. 表現指導・支援の技法：②コード（ト長調）の応用
- 第4日
8. 弾き歌いの発展：季節の歌（秋冬）
 9. 表現指導・支援の技法：③コード（へ長調）の応用
 10. 音楽表現と記号：イタリア語の楽語
- 第5日
11. 弾き歌いの発展：①行事の歌
 12. 弾き歌いの発展：②前奏の工夫
 13. 実践におけるパフォーマンス評価（子どもの表現）
- 第6日
14. 実践におけるパフォーマンス評価（実践者の表現）
 15. まとめ

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

ピアノと声楽（弾き歌い）については、次項の事前課題全8曲に基づいてレッスンをを行うことから、事前の予習が必要となる。ピアノ課題曲（1曲）および声楽（弾き歌い）課題6曲の予習準備状況を初回授業で確認する。

なお、声楽（弾き歌い）は、以下のように練習する。

- ・簡易伴奏が好ましい。
- ・曲に応じた速度で歌えるようにする。
- ・楽譜通りではなくコードネームを元に単音・和音・分散和音など、弾きやすい伴奏にアレンジする（ピアノテキスト71ページから80ページを参照のこと）。
- ・最後の4小節を前奏として弾くなど、変更してもよい。

事前課題

<ピアノ課題>

『みんなピアノだい好き！（保育者・教師をめざす人集まれ〜！）』（全音楽譜出版社）から、課題曲1曲と自由曲1曲（計2曲）を選曲し、練習する。

課題曲（1曲を選曲）： バイエル 88 番（p.12）、バイエル100番（p.14）

自由曲（任意の1曲を選曲）： Chapter 2 クラシック（「エリーゼのために」「ノクターン」は除く）

Chapter 4 ピアノでマーチ／ピアノでダンス（「子犬のマーチ」「聖者の行進」は除く）

Chapter 5 ピアノでポップス

上記の中から選曲すること

<声楽（弾き歌い）課題>

『改訂 ポケットいっぱいのおうた 実践 子どものうた 簡単に弾ける144選』（教育芸術社）から以下のリストより計6曲選曲し、ピアノを弾きながら歌えるように準備する。ただし、ハ長調からは2曲までとする。

〈弾き歌い課題曲リスト〉

ハ 長 調	アイアイ	思い出のアルバム	すてきなパパ	虫の声
	アイスクリームのうた	おもちゃのチャチャチャ	せんせいとおともだち	むすんでひらいて
	赤鼻のトナカイ	かたつむり	そうだったらいいのにな	めだかの学校
	朝のうた	かもつれっしや	たきび	森のくまさん
	歌えバンバン	こいのぼり（絵本唱歌）	手をたたきましょう	夕やけこやけ
	大きなくりの木の下で	さんぽ	ともだちになるために	
	おかえりのうた	シャボン玉	とんぼのめがね	
	おべんとう	すうじのうた	はをみがきましょう	
ト 長 調	いるかはざんぶらこ	子どもの世界	茶つみ	にんげんっていいな
	We Wish You a Merry Christmas	幸せなら手をたたこう	どんな色がすき	ピクニック
	うみ	世界中のこどもたちが	七つの子	ふしぎなポケット
	大きな古時計	線路は続くよどこまでも	にじ	
へ 長 調	ありさんのおはなし	きらきら星	ニヤニヤの天気予報	やぎさんゆうびん
	あわてんぼうのサンタクロース	サッチャン	バスごっこ	山の音楽家
	一年生になったら	すいかの名産地	Happy Birthday to You	ゆりかごの歌
	お正月	ぞうさん	Believe	雪
	おばけなんてないさ	たなばたさま	まっかな秋	
	おはながわらった	楽しいね	まつぼっくり	
	きのこ	手のひらを太陽に	南の島のハメハメハ大王	
ニ 長 調	あくしゅでこんにちは	犬のおまわりさん	とけいのうた	豆まき
	あめふりくまのこ	おつかいありさん	ホ！ホ！ホ！	

②使用教科書

『幼稚園教育要領』平成29年3月、文部科学省

『みんなピアノだい好き！（保育者・教師をめざす人集まれ〜！）』全音楽譜出版社

『改訂 ポケットいっぱいのおうた 実践 子どものうた 簡単に弾ける144選』教育芸術社

③参考書 『シング・ウォーク・ダンス』坪能由紀子・野本由紀夫ほか 音楽之友社

④持参するもの 上記教科書3冊、五線紙

⑤成績評価 事前課題準備40% クラス授業・レッスンでの取り組みと演奏40% パフォーマンス評価20%

⑥学生へのメッセージ

受講生の人数、進度などの状況により、授業内容を変更する場合があります。

事前課題、初回の演奏発表等について理解した上で受講してください。

子どもと表現（夏期スクーリング）

担当教員： 根津 知佳子

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2023年度

概要

領域「表現」に関する発達段階や表現行為の様相などを理解するために必要な専門的事項の知識を身に付けるとともに、保幼小連携を視野に入れた表現活動の意義について学ぶ。特に、養育・保育・教育・療育などにおける具体的な活動を視野に入れ、音楽表現の多様性について学ぶ。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①乳児期から児童期までの発達様相をふまえ、音楽表現行為の特性を理解するための理論を理解することができる。
- ②乳幼児期の表現活動を支える基礎的な知識・技能を理解することができる。

授業計画

【第1日目】

1. 楽譜に内在する多様な情報：楽譜の基礎知識
2. 音楽表現における sound & silence（音価のシステム）／リズムと拍子
3. 子どもの音域の発達：音名と階名／音程感覚（完全音程／長短音程／増音程と減音程）

【第2日目】

4. 子どもの声域の理解：長音階の構造／短音階の構造
5. 弾き歌いの基礎：和音・コードネーム／和音の転回形

【第3日目】

6. 弾き歌いの応用：移調・転調・記号
7. 弾き歌いの応用：楽曲分析
8. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前に、使用教科書『みんなピアノだい好き！（保育者・教師をめざす人集まれ～！）』のCHAPTER 1 はじめてのピアノ（6～7ページ、16～17ページ）とCHAPTER 8 楽典のまとめ（154～158ページ）を読んでおくこと。おおよそ2時間程度。

②使用教科書

『みんなピアノだい好き！（保育者・教師をめざす人集まれ～！）』 全音楽譜出版社
『改訂 ポケットいっぱいのおうた』鈴木恵津子・富田英也 教育芸術社
『幼稚園教育要領（平成29年3月、文部科学省）』
『小学校学習指導要領解説 音楽編（平成29年7月、文部科学省）』

③参考書

『シング・ウォーク・ダンス』坪能由紀子・野本由紀夫ほか編 音楽之友社
『楽典 理論と実習』石桁真礼生ほか 音楽之友社

④持参するもの

教科書、五線ノート

⑤成績評価

毎回の授業の省察（75%）と弾き歌いなのでパフォーマンス評価（25%）により総合的に評価する。

⑥学生へのメッセージ

授業内容については、それぞれの授業の進度によって変更する場合があります。

身体クリエイティブ表現（夏期スクーリング）

担当教員： 澤田 美砂子

1年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

自らの身体を使って自由に表現する活動および他者と共に生み出す身体表現活動を通して、ありのままの自分を受け入れ他者に寄り添うコミュニケーションの在り方について学ぶ。

授業の方法

【面接】実技を主とし、グループワークを行うこともある。

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ①特定の型や固定観念にとらわれず、自由な発想で自らの身体を使って表現することを目指す。
- ②相手のペースやリズムを共有しながら表現することを通して、他者を感じて動くことの楽しさや難しさを理解する。

授業計画

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. イメージ通りに動ける体をつくる | 5. 動きの質の変化 |
| 2. ことばのイメージと表現 | 6. 共に動く（ミラーリング／様々な感覚を通して／応答的表現） |
| 3. 音のイメージと表現 | 7. 共に創る |
| 4. 物との関わりと表現 | 8. 共に表現する |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

本授業では、過度に激しい運動ではありませんが、全身を使った運動を行いますので、スクーリング期間前から期間中も含め、1日30分程度は自宅でストレッチや軽運動を行うなど、健康管理を十分に行って授業に臨むようにしてください。

②使用教科書 特になし。必要に応じて資料を配付します。

③参考書 指定なし

④準備するもの 運動着、体育館シューズ、タオル、飲み物

⑤成績評価 授業に取り組む姿勢（60%）および目標達成度（40%）について、総合的に評価する。

⑥学生へのメッセージ 子どもと関わるうえで、柔軟な思考や対応は不可欠です。まずは自身の心と体を解放し、自由な発想力や想像力を高めていきましょう。

身体クリエイティブ表現（集中スクーリング）

担当教員： 鹿内 菜穂

1年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

自らの身体を使って自由に表現する活動および他者と共に生み出す身体表現活動を通して、ありのままの自分を受け入れ他者に寄り添うコミュニケーションの在り方について学ぶ。

授業の方法

【面接】実技を主とし、グループワークを行うこともある。

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ①特定の型や固定観念にとらわれず、自由な発想で自らの身体を使って表現することを目指す。
- ②相手のペースやリズムを共有しながら表現することを通して、他者を感じて動くことの楽しさや難しさを理解する。

授業計画

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. イメージ通りに動ける体をつくる | 5. 動きの質の変化 |
| 2. ことばのイメージと表現 | 6. 共に動く（ミラーリング／様々な感覚を通して／応答的表現） |
| 3. 音のイメージと表現 | 7. 共に創る |
| 4. 物との関わりと表現 | 8. 共に表現する |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

本授業では、過度に激しい運動ではありませんが、全身を使った運動を行いますので、スクーリング期間前から期間中も含め、1日30分程度は自宅でストレッチや軽運動を行うなど、健康管理を十分に行って授業に臨むようにしてください。

②使用教科書 特になし。必要に応じて資料を配付します。

③参考書 指定なし

④準備するもの 運動着、体育館シューズ、タオル、飲み物

⑤成績評価 授業に取り組む姿勢（60%）および目標達成度（40%）について、総合的に評価する。

⑥学生へのメッセージ 子どもと関わるうえで、柔軟な思考や対応は不可欠です。まずは自身の心と体を解放し、自由な発想力や想像力を高めていきましょう。

音楽療法的アプローチ（集中スクーリング）

担当教員： 根津 知佳子・大竹 孔三

1年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

音楽に内在する3つの治療的機能（生理的作用・心理的作用・社会的作用）と音楽療法的な活動の構造を理解する。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP2,4

到達目標

- ①音楽に内在する3つの治療的機能を理解する
- ②音楽療法的な活動の構造を理解する
- ③具体的な活動を展開するための技法を理解する

授業計画

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. オリエンテーション／音楽療法の歴史 | 5. 音楽療法的アプローチの構造 |
| 2. 音楽に内在する治療的機能①生理的作用 | 6. 音楽療法的アプローチの応用①個別セッション |
| 3. 音楽に内在する治療的機能②心理的作用 | 7. 音楽療法的アプローチの応用②グループ活動 |
| 4. 音楽に内在する治療的機能③社会的作用 | 8. 音楽療法的アプローチの課題と展望 |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

第5回の事前に、「音楽的経験に関するライフストーリー」を作成する。また、第6回～7回は、受講者が自分自身の音楽実技のレベルを自覚した上で模擬的な演習案を作成する。

②使用教科書 毎回資料を提示する。

③参考書 初回の授業で提示する。

④準備するもの 特になし

⑤成績評価 毎回の授業における省察（80%）と第6回～第7回の課題への取り組み（20%）で総合的に評価する

⑥学生へのメッセージ 提示された情報・資料をもとに、自分なりに課題意識をもって取り組んでください。

特記事項 対面による授業を行います。

音楽に関する技能は問いませんが、受講生が多い場合は、「子どもと表現（旧音楽理論）」あるいは「音楽表現（旧音楽実技）」を履修済・履修中の受講生を優先します。

小児保健学1 (テキスト)

担当教員：平田 倫生

1年次～ 必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

ライフサイクルの前半、つまり胎生期から思春期までの各年令での身体発育や生理機能、運動機能、精神などの発達の基礎的事項を学習する。数ある動物の中でも、人間は、自立するまでに、親、家族、保育者、教育者など周囲の環境に依存する期間が最も長い。したがって、個としての発育、発達には、養育する者との相互関係のあり方が必ず反映される。このような考え方や基礎知識の上になつて、小児の心身の健全な成長を図るための育児や保育の考え方、方法を習得する。また、心身の健康に及ぼす環境の影響、事故防止、安全教育、感染症に対する予防等についても学ぶ。子どもの場合、とくに心身が発達途上であることから、心と身体の両面をいつも留意する視点を養うことが最も重要となる。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

子どもの心身の正常な発達を正しく理解することで、病気や異常についての正しい知識とその対策の立案方法を習得する。

学習の進め方

1. テキストを学習する。
2. 章ごとあるいは複数の章の学習を終えたところで関連する文献を調べる。その後、レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・関連文献に基づき学習する。
3. レポートの下書きを作成し、テキスト・関連文献との整合性等を確認した後、レポートを清書し、提出する。
4. レポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・関連文献によりさらに学習する。
5. 身の回りにある子どもの健康に関する情報についても、常に意識して考えてみる姿勢が非常に大事である。学習したことをもとに、身の回りの子どもについて考える習慣をつけてほしい。

内容

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 子どもの保健と母子保健 | 9. 障害がある子どもへの支援 |
| 2. 子どもの保健の諸統計 | 10. 子どもの歯の発達とケア |
| 3. 子どもの身体発育とその評価 | 11. 子どもの病気 |
| 4. 子どもの生理機能の発達 | 12. 子どもの病気の予防 |
| 5. 子どもの脳神経系の発達 | 13. 子どもと保健指導 |
| 6. 子どもの運動機能の発達 | 14. 子どもと保健安全管理 |
| 7. 子どもの感覚の発達と評価 | 15. まとめ |
| 8. 子どもの発達と評価 | |

テキスト・参考書

- ① **テキスト** 心とからだを育む子どもの保健I 高内正子編著 保育出版社
小児保健学1—学習の手引— 吉澤一弥著 日本女子大学通信教育課程編集、発行

テキスト一覧（「履修の手引」に掲載）を必ず参照のこと。

- ② **参考書** 指定なし

成績評価

- ① **レポート** 与えられたテーマに関して、内容の的確さ、正確さ、論理性を含め、総合的に評価する。
② **科目修了試験** 主として使用テキストの単元を中心に出题する。

小児保健学2 (精神保健を含む) (夏期スクーリング)

担当教員：平田 倫生

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

「小児保健学2」では、テキスト科目「小児保健学1」で学んだ基礎的な事柄を踏まえて、主として子どものこころと身体の様々な病気や問題について、養育者や保育者として知っておいてほしい事項について、さらに掘り下げた学習を進めていく。子どもの身体的な側面に加え、子どもを取り巻く社会環境やその諸問題についても知識を深めていく。講義は、座学にとどまらず、グループディスカッションやその結果の発表など、学生が参加する機会が多くある。新しいことを吸収したいという積極的な姿勢で参加してほしい。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

子どものいるさまざまなフィールドで生かせる知識を身につける。

授業計画

1. 子どもとおとなの違い
2. 子どもの健康とは
3. 子どもの身体的特徴
4. 子どもの運動発達
5. 子どもの精神発達
6. 子どもの代表的な疾病 (身体面)
7. 子どもの代表的な疾病 (精神面)
8. アレルギー
9. 発達障害
10. 子どもの事故とその予防
11. 子どもの心肺蘇生
12. 子どもの予防医療
13. ワクチン
14. 虐待
15. 子どもを見守るための社会のサポート

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

テキスト「小児保健学1」で予習

事前課題

講義内容をよりよく理解するため、テキスト「小児保健学1」を大まかに予習したうえでスクーリングにのぞむこと。

② 使用教科書 特になし

③ 参考書

心とからだを育む子どもの保健 I 高内正子編著 保育出版社、学習の手引

④ 持参 (準備) するもの 特になし

⑤ 成績評価

授業内での討論、意見 (30%)、課題への取り組み (30%)、レポート (40%)

⑥ 学生へのメッセージ

子どもに健康について様々な角度から考える力を身につけてほしい。

小児栄養学 (テキスト)

担当教員：平田 倫生

2年次～ 必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

子どもが成長しおとなになっていく過程を、栄養・食事・食生活などを中心に学ぶ。親、養育者、保育者が、栄養面から見た発育を正しく評価できるようになることが目標となる。また、母乳栄養、人工栄養、離乳の心身両面からの意義などについても学習する。さらに栄養や食事に関する病態や疾患にも触れる。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

子どもの養育にかかわることも想定し、正しい知識を身につける。

学習の進め方

使用テキストを中心に学習しながら、身の回りにある子どもの栄養に関する情報についても、常に意識して考えてみる姿勢を大事にしてほしい。

内容

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの健康と食生活の意義 | 9. 食育の基本と内容 |
| 2. 栄養に関する基本的知識 | 10. 家庭における食事と栄養 |
| 3. 子どもの発育・発達 | 11. 児童福祉施設における食事と栄養 |
| 4. 胎児期の食生活 | 12. 疾病および体調不良の子どもへの対応 |
| 5. 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活 | 13. 食物アレルギーのある子どもへの対応 |
| 6. 幼児期の心身の発達と食生活 | 14. 障害のある子どもへの対応 |
| 7. 学童期の心身の発達と食生活 | 15. まとめ |
| 8. 生涯発達と食生活 | |

テキスト・参考書

- ① **テキスト** 最新子どもの食と栄養 飯塚美和子他著 学建書院
小児栄養学—学習の手引— 吉澤一弥著 日本女子大学通信教育課程編集、発行

テキスト一覧（「履修の手引」に掲載）を必ず参照のこと。

- ② **参考書** 指定なし

成績評価

- ① **レポート** 与えられたテーマに関して、内容の的確さ、正確さ、論理性を含め、総合的に評価する。
② **科目修了試験** 主として使用テキストの単元を中心に出题する。

母性保健 (テキスト)

担当教員： 岩田 正範

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2023年度

概要

思春期を含む妊娠前の女性、妊娠中あるいは育児をおこなっている女性に対する健康の維持と増進をはかることを目的としたものが母性保健である。したがって、講義内容としては、思春期の諸問題、排卵から月経発来メカニズム、妊娠の成立、妊娠経過、分娩―産褥などであるが、これに加え、婦人科系腫瘍に関しても、最近の医学的知識を基にして行う。とくに、妊娠の合併症に関しては現職の医師として、移り変わる最近の知見を講義する。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

女性として将来の妊娠、出産、育児にそなえて十分な知識をもち、それに対処しうる準備ができることを目標とする。

学習の進め方

1. テキストのI～VIII章ごとに学習を進める。
2. リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキストに基づき学習する。
3. リポートの下書きを作成する。
4. 下書きリポートと、テキストとの整合性等を確認する。
5. 指定の用紙により提出用リポートを作成し、提出する。
6. リポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。リポート不合格の場合は改めてテキストを学習し、参考文献に当たった上でリポートを作成し、提出する。
7. 科目修了試験に向けて学習する。
8. 科目修了試験不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。科目修了試験終了直後に問題をどの程度解けたか確認し、難しかった箇所を改めて学習し、自分の弱点を克服することを推奨する。

内容

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 思春期の諸問題―身体発育の概要― | 5. 妊娠の合併症 |
| 2. 排卵から月経のメカニズム | 6. 分娩―産褥 |
| 3. 妊娠の成立 | 7. 婦人科疾患、婦人科系腫瘍 |
| 4. 妊娠経過 | |

テキスト・参考書

①テキスト 母性保健 日本女子大学

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 『リポート課題集』参照

成績評価

- ①リポート 全体を100として、課題の理解60%、学生自身の学習成果20%、リポートとしての完成度20%として評価する。
- ②科目修了試験 第一問 50点、第二問の一 25点、第二問の二 25点と配分し、合計点で評価する。

その他

この授業を受け、女性の心得の一つとして、母性保健を学んで欲しいと願っている。

子どもと造形1（夏期スクーリング）

担当教員： 和田 直人

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

この授業では実際に自ら演習を行いながら、子どもの表現活動について学びます。演習では、上手に作るのではなく、自由に作品を制作することで、造形活動の楽しさや喜びを知ることが目標とします。造形の基本となる形、色、素材といった造形要素の基礎知識を深めていきながら、子どもの表現活動に生かす術を学び、子どもの喜びに共感し一緒に胸ときめかせながら造形活動ができる感性について考察していきます。

授業の方法

【面接】 グループワークも取り入れる。

学位授与方針との関係

児童D P4

到達目標

- ①形や色、材料の特徴や構成の美しさを考えながら表現したいものを自由に表現できる。
- ②材料や用具の特徴を活かして使い、表現したいことを見つけて表すことができる。
- ③絵本の視覚・言語表現性について理解することができる。
- ④絵本を活用した表現活動について理解し、基礎的な技術を体得することができる。

授業計画

1. イントロダクション（モダンテクニックについて）
2. ドローイング（クレヨン・パス類の基礎技法）・ペインティング（水彩絵の具の基礎技法）
3. 水彩絵の具のモダンテクニック1（ドリッピング・吹き流し）
4. 水彩絵の具のモダンテクニック2（デカルコマニー・ストリング）
5. 水彩絵の具のモダンテクニック3（フロッタージュ・スタンピング）
6. クレヨンを用いたモダンテクニック（スクラッチ）
7. コラージュ（雑誌や写真を用いて）
8. さまざまな手作り絵本
9. 手作り絵本1（エリックカールの絵本作り：絵本を活用した表現活動絵）
10. 手作り絵本2（コラージュのための色紙作り：絵本の基礎的な技術の体得）
11. 手作り絵本3（絵本構想と下絵）
12. 手作り絵本4（絵本制作：視覚表現と言語表現）
13. 手作り絵本5（製本）
14. 手作り絵本6（鑑賞と講評）
15. まとめ（ICTを活用して幼児の表現についての知識と技能の整理）

受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 事前・事後学修として、毎回、最低1時間以上は課題制作の時間を設ける。
- ②使用教科書 授業中に適宜、資料を配布します。
- ③参考書 『手作り絵本 SMILE』朝倉書店 2017年
- ④持参するもの 水彩絵の具（12色以上）、筆、パレット、鉛筆、スティック糊、はさみ
- ⑤成績評価 造形活動の提出物80%、レポート・感想文20%
- ⑥学生へのメッセージ 絵の具等で汚れる場合もあります。造形活動に適した服装にしてください。

子どもと造形2 (テキスト)

担当教員： 横井 真希子

2年次～ 選択3単位

テキスト科目／2023年度

概要

人間の表現と創造的な造形活動の意味するものは何か。こどものあそびの中に見られる造形的活動が、個々のこどもの成長発達に、どのような意味をもつものであるかを明らかにする。小学校教諭としての実践を添削指導に活かしたい。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

こどもにとって望ましい「作る活動」の内容や創造活動の質の高まりを刺激する支援のあり方について理解を深め、その指導力を養う。

学習の進め方

1. テキスト、特に『ベーシック造形技法』の章ごとに学習を進める。
2. レポート課題を確認する。
3. レポートの下書きを作成し、テキスト・参考文献等との整合性を確認する。
4. 提出用レポートを作成、提出する。
5. レポート合格の場合は科目修了試験に向けて学習する。レポート不合格の場合は改めて学習し、レポートを作成・提出する。
6. 科目修了試験に合格する。不合格の場合は改めて学習し、再度科目修了試験を受験する。

科目修了試験に向けて①テキストをよく読み、子どもの造形活動の様々な場面を想定して理解を深める。②造形の基礎的な用語、素材、技術等を広く学習する。

内容

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 人間と造形 | 6. デザイン・工芸の基礎技法(1)デザインの主題、材料と技法 |
| 2. 造形表現の分類 | 7. デザイン・工芸の基礎技法(2)工芸の材料と技法 |
| 3. 絵画・彫刻の基礎技法(1)絵画の主題、材料と技法 | 8. 芸術作品の鑑賞(1)芸術体験としての鑑賞 |
| 4. 絵画・彫刻の基礎技法(2)版画の特性、材料と技法 | 9. 芸術作品の鑑賞(2)美術館の活用 |
| 5. 絵画・彫刻の基礎技法(3)彫刻の主題、材料と技法 | 10. 生活と造形 |

テキスト・参考書

- ①テキスト ベーシック造形技法 建帛社、学習の手引
幼稚園教育要領解説 文部科学省
小学校学習指導要領解説図工編

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 『レポート課題集』内の「子どもと造形2」を参照のこと

成績評価

- ①レポート 課題の理解40%、学生自身の学習成果30%、資料の活用・完成度等30%
②科目修了試験 理解40%、基礎知識30%、考察力・発展性等30%

その他

ご自分のこども時代を思い出したり、身近にいるこどものあそびや造形活動の様子などを実際に見て関連付けを行うと、テキストの内容への理解がより深まるでしょう。

子どもと造形3（集中スクーリング）

担当教員：横井 修

3年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

身近な素材を用いた制作を通じて造形芸術の魅力に触れ、素材や道具の扱いを学ぶ。作品が生み出される背景にあるモチーフ(きっかけ)と、その過程で制作上必要となるメソッド(方法・素材)の関係を探り、実制作する。

授業の方法

【面接】

スライドレクチャー、開架式書籍資料をもとにした個人制作および、グループ制作。

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

保育者や教育者自身が造形表現について深く知ること、初めてこどもに表現する楽しみを伝えることができる。そのためには造形作品がどのような過程を経て生まれるのかを知り、自分自身の制作を通じて理解を深め、表現の基礎力と展開の柔軟性を獲得することを目指す。

授業計画

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1.オリエンテーション | 9.共同制作3 グループ制作 素材を探る |
| 2.造形・美術について | 10.共同制作4 グループ制作 制作 |
| 3.個人制作1 身近な素材で制作 | 11.共同制作5 グループ制作 制作 |
| 4.個人制作2 身近な素材で制作 | 12.共同制作6 グループ制作 仕上げ |
| 5.個人制作3 身近な素材で制作 | 13.展示 |
| 6.個人制作提出 レポート提出 | 14.発表 鑑賞 |
| 7.共同制作1 グループ制作 モチーフを探る | 15.レポート |
| 8.共同制作2 グループ制作 テーマを出し合う | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

日頃、美術作品の観賞や画集を眺める等、表現に触れる機会をもつことが望ましい。また美術に限らず工芸、デザイン、建築といった分野に視野を広げることも良いでしょう。特に時間は定めない。

②使用教科書 なし

③参考書 指定なし

④持参するもの スケッチブック（F6程度）、クレヨン、水彩絵の具セット、はさみ、のり、エプロン、カッター、カッターマット、作品持ち帰り用の袋（大きめの紙袋等）

⑤成績評価 授業参加・発表 50%、作品 30%、レポート・感想文 20%

⑥学生へのメッセージ 汚れてもよい動きやすい服装をおすすめします。その他の持参品が必要な際は、その都度指示します。

児童文学 (テキスト)

担当教員： 川端 有子・奥山 恵

2年次～ 必修2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2023年度

概要

本科目では、詩歌や絵本、伝承文学を含めた児童文学作品について知り、それらが知性や感性など、子どもの育ちにどのような役割を果たしているかを考えていく。また、古典的名作から現代の傑作まで、数多くの児童文学に触れることによって、すぐれた作品を見極める鑑識眼を養い、子どもたちに読書の楽しみを伝えるために必要な知識と技術を身につける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①詩歌や絵本、伝承文学、リアリズムやファンタジーなど、児童文学のさまざまなジャンルの特徴を知る。
- ②できるだけ多くの作品に触れ、それらを分析することによって、子どもの発達段階にふさわしい教材の選択ができる力を養う。
- ③子どもの読書活動の推進に役立つ知識や技能を身につける。

学習の進め方

1. テキスト第一部において児童文学とは何かということをしかりと理解したうえで第二部・第三部へと進み、ジャンルの全体像や関連トピックについての理解を深める。
2. テキストの解説をより深く理解するため、テキストの本文中で言及されている作品を実際に読む。そのうえで、テキストの解説を参考にしながらその作品の児童文学史の中での位置づけや評価について、自分なりの言葉で説明できるようにする。
3. 各章末のブックリストに挙がっている作品を、なるべくたくさん読み、「2.」で行なった学習を深める。
4. 子どもの読書活動の推進に役立つ情報が盛り込まれた「コラム」を熟読し、実践的知識と技術を身につける。
5. レポートの課題を確認し、テキストや参考文献を参照しながら学習する。
6. 指定の用紙により提出用レポートを作成し、提出する。
7. 科目修了試験対策としては、上記「1.～4.」を繰り返し行うことが効果的である。とくにブックリストの〈本文でとりあげた作者・作品〉については、すべて読んでおくこと。〈もっと読みたい人のために〉に挙がっている作品についても読んでおくことが望ましい。また、「コラム」と第二部の各章末に掲げられた「課題」に一通り目を通しておくことも重要である。

内容

第1回 子どもの本の分類	第9回 ノンフィクション
第2回 英米児童文学史	第10回 児童詩
第3回 日本児童文学史	第11回 児童文学の古典
第4回 神話・伝説・昔話	第12回 世界の児童文学
第5回 ファンタジー	第13回 戦争と平和を考える児童文学
第6回 リアリズム	第14回 絵本のいろいろ
第7回 冒険物語	第15回 幼年文学とYA文学
第8回 歴史物語	

テキスト・参考書

①テキスト 児童文学の教科書 川端有子 玉川大学出版部 2013

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 テキストの各章末を参照のこと。レポート作成に際しての参考書については、『レポート課題集』も参照のこと。

成績評価

①レポート 全体を100として、課題の理解30%、学生自身の学習成果40%、レポートの完成度30%とする。

②科目修了試験 第1問25点、第2問45点、第3問30点とする。

その他

レポート作成時にはテキスト 227～230 ページを熟読してください。

児童文学（夏期スクーリング）

担当教員： 川端 有子

2年次～ 必修(2)単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2023年度

概要

最初に、歴史・社会的背景から「子ども観」の誕生と変遷をたどり、それがいかんして児童文学の発生につながったかを認識する。そして「教えること」「楽しませること」を二つの目的として生まれた児童文学が、近代社会から現代にどのような役割を担ってきたかを跡付ける。その後、各論として児童文学の諸ジャンルを学び、各ジャンルの発達の背景、問題点、今日性、それを研究する意味を詳細に学ぶ。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（zoom、manaba 利用）】

指定した教科書と manaba に載せた資料を参照しつつ、zoom で授業を受け manaba で課題を提出。

学位授与方針との関係

児童DP 1, 2, 3

到達目標

歴史的、文化的背景から児童文学の意義を知る。

子どもとの関わりの場での実践を学ぶ。

授業計画

第1日 zoom で授業、manaba でレポート イントロダクション：授業の進め方と学生に求めるもの 第一部第一章：理解 第一部第二章：定義 第一部第三章：英米の歴史 第一部第四章：日本での歴史 第二部第一章：伝承	第二部第三章：リアリズム 第二部第四章：冒険物語
第2日 zoom で授業、manaba でレポート 第二部第二章：ファンタジー 第二部第二章：ファンタジー（続き）	第3日 zoom で授業、manaba でレポート 第二部第五章：歴史物語 第二部第六章：ノンフィクション 第二部第七章：子どものための詩 第三部一～五章 まとめ これからの児童文学の在り方について 理解度確認試験 読後レポートを manaba に提出

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

ブックリストに挙がっている本のうち一冊は読後レポートが書けるように事前に読んでおくこと。復習時間は毎日1時間程度。

②使用教科書 児童文学の教科書 川端有子 玉川大学出版部

その他の資料は manaba に掲載。

③参考書 指定なし

④準備するもの 教科書 ノート

⑤成績評価 毎回授業の最後に manaba に書いてもらうリアクション・ペーパーをもって授業参加態度を図り、これを30%、最終日に行う理解度確認試験（持ち込み可）を30%、最終レポートとして教科書に出てくる児童文学作品のうち、一作品の読後レポートを課し、これを40パーセントとして評価する。

⑥学生へのメッセージ 教科書の当該章を事前によく読んでおくこと。

児童文学特論（夏期スクーリング）

担当教員： 本間 裕子

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

児童文学の中でも、英米のファンタジー作品を取り上げます。歴史的にファンタジーの発祥からたどっていきます。類型的な面と差異化、革新性、そして社会の反映といったいくつかの視点から作品を見ていきます。ファンタジーというジャンルは幅広いですが、その多様性を学んでいきましょう。

授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業（manaba 利用）】

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ①英米の代表的なファンタジー作品について学ぶ。
- ②ファンタジーというジャンルの特徴を学ぶ。
- ③時代性と個性を考察する。

授業計画

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1. イントロダクション：ファンタジーの発祥を学ぶ | 9. メアリー・ノートン『床下の子どもたち』 |
| 2. 伝承文学から創作昔話へ | 10. フィリパ・ピアス『トムは真夜中の庭で』 |
| 3. ジョージ・マクドナルド『お姫さまとゴブリンの物語』 | 11. アーシュラ・K. ル=グイン『影の戦い』 |
| 4. E. ネズビット『砂の妖精』 | 12. ダイアナ・ウィン・ジョーンズ『魔法使いハウルと火の悪魔』 |
| 5. ジェームズ・バリ『ピーター・パン』 | 13. フィリップ・プルマン『黄金の羅針盤』 |
| 6. パメラ・トラバース『メアリー・ポピンズ』 | 14. J. K. ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』 |
| 7. J. R. R. トールキン『ホビットの冒険』 | 15. まとめ |
| 8. C. S. ルイス『ライオンと魔女』 | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

C. S. ルイス『ライオンと魔女』を読んでおいてください。授業で取り上げる他のどれか1冊もできれば読んでください。

②使用教科書 『ライオンと魔女』 C. S. ルイス 岩波少年文庫

③参考書 授業で随時紹介します。

④準備するもの 教科書（『ライオンと魔女』）

⑤成績評価 授業参加度 60%、最終日の論述試験 40%

⑥学生へのメッセージ 講義が中心となりますが、積極的な意見をお願いします。

子どもと絵本（夏期スクーリング）

担当教員： 伊藤 明美

3年次～ 選択2単位 【認定絵本士】

スクーリング科目／2023年度

概要

子どもが絵本に出会うためには、周囲の大人が子どもの状況と絵本の有用性を理解し、子どもが関わるあらゆる場面で読書環境を整備することが必要です。公共図書館は地域の読書環境の核となって、子ども・保護者・保育者等にさまざまな取り組みを行っています。この授業では公共図書館の児童サービスを参考に、地域で子どもと絵本を結ぶ意義と可能性、実践的手法を考えます。

授業の方法

【面接】

対面で授業を行います。指定した教科書に沿って講義を行い、その都度関係する資料を紹介し、おはなし会の実際等については必要に応じて演習を行います。

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①子どもが絵本と出会う状況を理解する。
- ②絵本の世界を広げる技術を説明できる。
- ③子どもと絵本を結び、紹介する技術を理解する。
- ④地域の読書環境整備について説明できる。

授業計画

1日目

1. オリエンテーション
2. 絵本と出会う①【はじめての絵本との出会い】
3. 絵本と出会う②【保育・教育の場での出会い】

2日目

4. 絵本と出会う③【図書館等での出会い】
5. おはなし会の手法①【おはなし会を開こう】

3日目

6. 絵本と出会う④【書店での出会い】
7. 自治体の子ども読書推進計画と絵本
8. 絵本の世界を広げる技術③【絵本コンシェルジュ術】

4日目

9. 絵本の世界を広げる技術①【絵本を探す技術】
10. 絵本を紹介する技術①【ブックトークの技術】

5日目

11. 絵本のある空間【絵本のある望ましい空間とは】
12. 絵本を紹介する技術②【支援が必要な人々や高齢者への絵本の役割】

6日目

13. おはなし会の手法②【おはなし会のテクニック】
14. ディスカッション【認定絵本士としての今後の活動】（認定絵本士養成講座責任者担当）
15. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

絵本を子どもに手渡す手段と方法に関心を持つこと。地域の公共図書館の児童コーナーに足を運び、絵本コーナーの場所・配架方法を見学しておくこと。1日の授業につき、予習・復習あわせて1～2時間程度。

事前課題 ④準備するもの1) の読み聞かせ練習をする。2) の本を探し、紹介理由等を書いて1日目に提出する。

②使用教科書

認定絵本士養成講座テキスト 絵本専門士委員会課程認定部会認定絵本士養成講座テキスト作成ワーキンググループ編
中央法規出版 978-4-8058-8225-2

③参考書

- 1) よみきかせのきほん 保育園・幼稚園・学校での実践ガイド 東京子ども図書館編 東京子ども図書館 978-4-88569-227-7
- 2) 児童サービス論 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6) 新訂版 堀川照代ほか編著 日本図書館協会
978-4-8204-1909-9
- 3) 児童文学論 リリアン・H. スミス著 岩波書店 978-4006022822
- 4) 絵本の庭へ (児童図書館基本蔵書目録1) 東京子ども図書館編 東京子ども図書館 978-4-88569-199-

④準備するもの

1) おはなし会の手法①

2日目に、読み聞かせのグループワークを行い、指定のレポートを提出してもらいます。

下記指定図書6冊のうち1冊を選び、③参考書1)『よみきかせのきほん 保育園・幼稚園・学校での実践ガイド』p.2～p.5を必ず読んで、読み聞かせの練習をしてください。選んだ本は、図書館で借りるなどして、2日目に持参してください。取り寄せに時間がかかることもありますので、貸出期間に配慮しつつ、早めに準備しましょう。

指定図書

1. 『かばくん』 岸田衿子文 中谷千代子絵 福音館書店
2. 『わたしとあそんで』 エッツ文・絵 よだじゅんいち訳 福音館書店
3. 『しずかなおはなし』 マルシャーク文 レーベデフ絵 内田莉沙子訳 福音館書店
4. 『アンガスとあひる』 フラック作・絵 瀬田貞二訳 福音館書店
5. 『ティッチ』 ハッチンス作・絵 石井桃子訳 福音館書店
6. 『かしこいビル』 ニコルソン作 松岡享子 吉田新一訳 ペンギン社

2) 絵本を紹介する技術①

4日目に、「秋」をテーマに、絵本のミニブックトークを行います。

紹介したい絵本を2冊選び、A4用紙に、書誌事項(書名・著者名・画家名・出版社・出版年)と紹介理由(400字以内)を書いて、1日目に提出してください。

2冊の本は4日目に持参してください。ひとり3分以内で紹介してもらいます。

3) おはなし会の手法②

6日目に教科書p.137の「ことりん」人形を製作します。

下記のものを持参してください。

縫い針・縫い糸(白)・はさみ・接着剤・めうち

⑤成績評価 1)授業時の感想・意見(20%) 2)課題への取組(30%) 3)レポート(50%)

⑥学生へのメッセージ 認定絵本士養成講座の科目です。絵本を子どもに結びつける実践的な手法を学びましょう。講義・演習への積極的な参加・発言を期待します。

特記事項 認定絵本士指定科目。正科生のみ履修可。受講者数を50名までとする。2021年度以降入学者のみ履修可。

絵本学概論（前期土曜スクーリング）

担当教員： 今田 由香

3年次～ 選択2単位 【認定絵本士】

スクーリング科目／2023年度

概要

絵本について学ぶ。人間の発達と絵本との関係を背景に、視覚表現としての絵本の在り方や絵本の構造について、より深い理解を培っていく。優れた絵本作家の作品に触れ、豊かな絵本世界を自分のものとしながら絵本を十分に楽しみ、作品の質を見極めるための知識と感性を身につける。赤ちゃんから高齢者までの読者を視野に入れ、多様な文化的背景とニーズをもつ人々と共に絵本を楽しむための方法を知り、絵本で何ができるのか、絵本を介して人と関わることで何が生まれるのかについて、実践と対話を重ねながら探究する。現在さまざまに試みられている絵本表現とその可能性にも目を向け、ひらかれた絵本論の構築に向かって思考する。

授業の方法

【面接】 対面で授業を行う。実際に絵本を開きながら、基礎的な知識を自分のものとし、実践と対話を重ねながら、絵本表現や絵本活用の可能性について考察する。

学位授与方針との関係

児童DP1 児童DP3 児童DP4

到達目標

- ① 子どもの成長発達と絵本との関係が理解できる。
- ② 絵本についての基本的な知識を修得し、絵本を分析的に検討することができる。
- ③ 子どもから大人まで、幅広い年齢の読者に絵本との豊かな出会いを提案できる。
- ④ 絵本というメディアの本質とその読書の可能性について洞察できる。

授業計画

1日目：対面授業

オリエンテーション/

1. 絵本総論（絵本とは何か）
2. 絵本各論①（絵本の歴史、絵本賞について）前半

2日目：対面授業

3. 絵本各論①（絵本の歴史、絵本賞について）後半
4. 絵本各論②（視覚表現、言語表現から見た絵本）
5. さまざまなジャンルの絵本③（科学絵本）

3日目：対面授業

6. さまざまなジャンルの絵本①（物語絵本）
7. さまざまなジャンルの絵本②（昔話、童話を基にした絵本）
8. 絵本の持つ力（さまざまな角度から絵本を見る）前半

4日目：対面授業

9. 絵本各論③（子供の知的・社会的発達と絵本のかかわり）
10. 絵本の持つ力（さまざまな角度から絵本を見る）後半
11. 絵本を紹介する技術（書評・紹介文の書き方）【絵本を紹介する技術②】

5日目：対面授業

12. 心に寄り添う絵本（心のケアと絵本の可能性）
13. 大人の心を豊かにする絵本（人生で3度、絵本を手にする喜び、大人こそ絵本を）

6日目：対面授業

14. 絵本が生まれる現場①（作家の感性に触れる）ゲストスピーカー
15. 絵本が生まれる現場②（絵本の編集）ゲストスピーカー

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

日頃から書店や図書館を訪れ、絵本に親しみ、絵本がある場所についてよく観察しておいてください。

この授業では、絵本をご自身でめぐりながら学んでいただきます。課題図書を指定しますので、事前に図書館で借りて読み、授業に持参してください。学びを深めるために、各回の授業では参考文献も紹介します。

1回の授業につき、予習と復習あわせて1～2時間程度が必要です。

②使用教科書

『認定絵本土養成講座テキスト』絵本専門士委員会・独立行政法人国立青少年教育振興機構発行 中央法規出版 2020年

③参考書 生田美秋・石井光恵・藤本朝巳編著『ベーシック 絵本入門』（ミネルヴァ書房 2013年）

④準備するもの 指定した絵本を事前に読み、授業に持参していただきます。1日目から3日目までの課題図書は下記のとおりです。授業開始日までに図書館で借りてください。近隣の図書館に蔵書がなくても他館から取り寄せてもらえることも多いです。授業に間に合うように早めに準備しましょう。

1日目（1週目）

1. 『ピーターラビットのおはなし』ピアトリクス・ポター 石井桃子訳 福音館書店 1971年
2. 『よあけ』ユリー・シュルヴィッツ 瀬田貞二訳 福音館書店 1977年
3. あなたが好きな絵本を1冊

2日目（2週目）

1. 『あおくときいろちゃん』レオ・レオーニ 藤田圭雄訳 至光社 1967年
2. 『の』junaida (ジュナイダ) 福音館書店 2019年
3. 『さくら』長谷川摂子文 矢間芳子絵 福音館書店 2010年

3日目（3週目）

1. 『かいじゅうたちのいるところ』モーリス・センダック 神宮輝夫訳 富山房 1975年
2. 『ロスト・シング』ショーン・タン 岸本佐知子訳 河出書房新社 2012年

⑤成績評価 授業に主体的に参加しているか 40% 課題やレポートの内容 60%

⑥学生へのメッセージ 認定絵本土養成講座の科目です。絵本の質を見極めるための基礎的な知識や理論をしっかりと身につけていきましょう。ロングセラーから現代の絵本まで、幅広い年代の多様な絵本を取り上げます。絵本作家や編集者に絵本づくりの実際を教えていただく機会もあります。先人たちが残してくれた絵本文化がどのようなものであったかを見つめ直し、それを次世代に受け継ぐために、またさらに豊かにしていくために、私たちに何ができるのかを一緒に考えてみましょう。

特記事項 認定絵本土指定科目。正科生のみ履修可。受講者数を50名までとする。2021年度以降入学者のみ履修可。

児童福祉 (テキスト)

担当教員： 阿久津 摂

1年次～ 必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

子ども家庭福祉の政策、法律、そしてそれを実施している機関について概略を理解する。また「子どもの権利に関する条約」の内容から「子どもの権利」についての考えを深める。そして最近の日本の社会で問題視されている「児童虐待」や「少子化」といった事象についても考察していく。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①子どもに対して行う福祉サービスである「子ども家庭福祉」の概略を知る。
- ②子どもを取り巻く社会状況について理解する。
- ③「子どもの権利」の受動的側面と能動的側面を知る。
- ④児童虐待防止に関する施策や政策について概略を知る。

学習の進め方

1. テキストの関連ページをしっかりと読む。
2. 「学習の手引」に沿ってさらに再読する。その際重要な語句は特にまとめておく。
3. 興味のあるテーマについて参考文献を調べる。
4. 下書きのレポートを作成する。
5. 一読して自身はもちろん、人が読んでわかりやすい、説明が施されている文章か（接続詞などを用いて文脈ができてきているかなど）確認する。レポートを提出する。
6. 科目修了試験に向けて、語句やトピックをまとめ直す。各行政機関の概要、それぞれの児童福祉施設の目的、児童虐待・少子化といった現象に関する重要事項はしっかり内容を把握し試験に臨むこと。

内容

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| ①現代社会と子ども | ⑨子ども虐待と福祉 |
| ②子ども家庭福祉の歴史と子ども（児童）の権利に関する条約 | ⑩ひとり親家庭の福祉 |
| ③子ども家庭福祉の法律 | ⑪保育支援と福祉 |
| ④子ども家庭福祉の行政機関 | ⑫社会的養護と福祉 |
| ⑤児童福祉施設 | ⑬障害児の福祉 |
| ⑥子ども家庭福祉の専門職 | ⑭子ども家庭福祉におけるネットワーク |
| ⑦母子保健と福祉 | ⑮少子化対策と子育て支援活動 |
| ⑧子どもの健全育成 | |

特に児童虐待、少子化、ひとり親、児童相談所、母子保健サービスといった事象は現代の社会において注目されているものなので、よく勉強しておいてください。

テキスト・参考書

- ①テキスト 子ども家庭福祉論 赤木正典・流王治郎 建帛社 2018、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 ①国民の福祉と介護の動向 厚生労働統計協会 各年度
②キーワードでわかる児童虐待防止法ガイドブック：令和2年4月改正版 中央法規出版 2020年
③これが答えだ少子化問題！ ちくま新書 2017年

成績評価

- ①レポート 課題内容について理解できているか、文脈などを意識してまとめてあるか、最新のデータにあたり内容を深めてあ

るかをポイントとし総合的に評価。

②科目修了試験 第1問は45点満点、第2問は55点とし、知識の正確さを第一に考察力も加味して採点する。

その他

小見出しや記号を多用せず、接続詞を適切に用いて読み手に伝わるような文章作成を心がけてください。最後に課題に取り組み何がわかったのか、何を考察したのかを書きましょう。

児童虐待の構造と支援（夏期スクーリング）

担当教員： 和田上 貴昭

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

虐待行為は子どもにとって悪い影響しか及ぼさないにもかかわらず、なぜこうした子どもへの不適切な行為は続けられるのだろうか。この疑問に対して本講義では、社会福祉学の観点から児童虐待について、家族構造や制度、社会環境との関係から検討することとする。子育てという身近な行為の中で生じる事象であるため、他人事ではなく、自身のこととして考える機会としたい。

授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業（manaba利用）】

オンデマンド型で実施する。授業動画を視聴して頂き、視聴後に授業内容の理解度を測るために課題に取り組み、期間内に提出して頂く。具体的な日程の詳細はmanabaで事前に指示する。また、質問等については受講生全体で共有するために、manabaで受講生全体に向けて適宜回答する。

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①児童虐待の構造について家族システムやライフステージ、アタッチメント、社会制度との関係から理解する。
- ②児童虐待防止において重要な役割を果たす社会資源等についての知識を身につける。

授業計画

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 児童虐待とは | 9. 懲戒権と家庭内暴力 |
| 2. 虐待被害の影響 | 10. 児童虐待防止施策と社会的養護施策 |
| 3. 親と子どもの関係、親の役割 | 11. 事例から支援を考える（予防） |
| 4. アタッチメント | 12. 事例から支援を考える（虐待介入） |
| 5. 親の被養育体験と養育行為 | 13. 事例から支援を考える（社会的養護） |
| 6. 家族システムから考える | 14. 事例から支援を考える（成人後の支援） |
| 7. 子育て家庭と地域 | 15. まとめ |
| 8. ソーシャルワークにおける視点 | |

受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 児童虐待報道について、新聞、テレビ等から情報を得ておく。授業開始までに5時間程度。
- ②使用教科書 使用しない
- ③参考書
 - ・子どもの脳を傷つける親たち 友田朋美 NHK出版 2017年
 - ・児童養護施設と被虐待児 施設内心理療法家からの提言 森田喜治 創元社 2006年
 - ・子どもの虐待防止・法的実務マニュアル【第7版】 日本弁護士連合会子どもの権利委員会編 明石書店 2021年
- ④持参するもの なし
- ⑤成績評価 その日の授業動画の最後に課題を課します。その課題に対する記述内容により評価する。
- ⑥学生へのメッセージ 児童虐待を「他人事」ではなく、自身のこととして考えていただくため、授業視聴後に取り組む課題において自身の被養育体験や養育体験を振り返っていただく機会があります。ご理解ください。

社会（テキスト）

担当教員：安原 輝彦

3年次～ 選択2単位 2018年度以降入学履修不可

テキスト科目／2023年度

概要

小学校社会科の目標、内容、各学年の概要、社会科教育の歴史、29年版学習指導要領の主な改善点、地図や地球儀の内容、歴史の内容、社会科の見方・考え方、授業の基礎、指導方法、学習評価及び指導計画の作成、授業展開例等について学びます。

授業の方法

【印刷教材等】

【デジタル教材】（ICT機器の活用）

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ① 小学校社会科の目標や内容、内容の取扱いなどと学習指導要領の改訂の経緯や趣旨について概要を説明できる。
- ② 3年生から6年生までの学習内容を具体的に引き上げながら、社会的な見方・考え方の基本について説明できる。
- ③ 社会科の授業、指導方法、評価、指導計画の作成など授業実践についての基本的なことについて説明できる。

学習の進め方

テキスト（小学校学習指導要領解説）の各章に沿って学習を進めるときの留意点について

1. 小学校学習指導要領解説で示されている社会科の目標、内容、内容の取扱いの分析では、特に「主体的・対話的で深い学び」「社会的な見方・考え方」について着目する。
2. 小学校学習指導要領解説で示された内容や内容の取扱いと主たる教材である教科書で記述されている学習内容の関連性について考えながら分析していく。
3. 社会科を学習していくうえで、児童が主体的に学習が取り組めるように資料活用、教材の工夫、学び方について理解する。
4. 社会科の授業を展開する上での興味関心、学習意欲の喚起、効果的な指導方法、発達への配慮、ICT活用等について理解する。
5. 社会科の学習評価及び指導計画の作成や実際の授業展開例について理解する。

内容

- | | |
|--|---|
| 1. 小学校社会科の目標と全体構成 | 9. 学習指導要領に準拠した学習プラン(3)5 学年 工業生産の授業を中心に |
| 2. 学習指導要領の歴史の変遷とこれからの社会科教育 | 10. 学習指導要領に準拠した学習プラン(4)6 学年 三権（国会、内閣、裁判所）の役割の授業を中心に |
| 3. 学習指導要領における社会科の内容(1)3 学年を中心に | 11. 学習指導案作成・改善の視点と評価の観点 |
| 4. 学習指導要領における社会科の内容(2)4 学年を中心に | 12. 社会科における資料活用(1) ICT機器の活用、視聴覚教材 |
| 5. 学習指導要領における社会科の内容(3)5 学年を中心に | 13. 社会科における資料活用(2) 地域教材の開発と活用 |
| 6. 学習指導要領における社会科の内容(4)6 学年を中心に | 14. 社会科が好きな子どもを育てるために |
| 7. 学習指導要領に準拠した学習プラン(1)3 学年 販売の仕事の授業を中心に | 15. 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて |
| 8. 学習指導要領に準拠した学習プラン(2)4 学年 廃棄物を処理する仕事の授業を中心に | |

テキスト・参考書

① テキスト

小学校学習指導要領解説 社会編 文部科学省 平成29年7月 日本文教出版 学習の手引
「新しい 社会」（3年、4年、5年下巻、6年政治国際編、地図） 東京書籍 令和4年度

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② 参考書

社会 船田信昭 日本女子大学 2013

成績評価

① レポート

課題の理解：25%、「ねらい」「アドバイス」を踏まえている：25%、学生自身の学習成果：25%、レポートとしての完成度：25%

② 科目修了試験

基礎知識：50%、内容理解及び考察力：25%、論理的思考力：25%

その他

具体的な授業実践のイメージを考えたり指導案の作成にあたっては主たる教材である教科書が参考になります。小学校3年生から6年生が使用する教科書は手元に置いて学習していただければと思います。

また、社会科の指導にあたっては、指導者である教員自身がニュース報道をはじめ、様々な社会の情報に関心をもって接し、批判的な思考を試していただければと思います。

算数（テキスト）

担当教員： 守屋 誠司

3年次～ 選択2単位

テキスト科目／2023年度

概要

算数科の目標及び内容について考察し、数学的な思考力・表現力についての理解を深める。数学的活動を通じた知識・技能の習得と数学的な思考力・表現力の育成とともに算数を主体的に学び、そのよさを実感し、新たな学習や日常生活に活用できる力を育む算数学習について考察する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ① 学習指導要領の目指す算数科の目標を理解する。
- ② 算数科の内容と学年の発達段階に応じた系統を理解する。
- ③ 指導内容の要点を把握する。
- ④ 数学的活動を体験する。

学習の進め方

新学習指導要領に基づいた本テキストと『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編』（文部科学省発行）を読み深め、算数科の目標や指導内容を学習し、テキストの各章の「研究問題」に取り組む。

内容

1. 算数科の目標と数学的な思考力・判断力・表現力
2. 問題解決的な授業の意義と構成
3. 数学的活動の意義と内容
4. A領域：数と計算(1) 整数・小数・分数
5. A領域：数と計算(2) 加法・減法・式
6. A領域：数と計算(3) 乗法・除法・式
7. B領域：図形(1) 図形概念・平面図形の性質・面積・平行垂直
8. B領域：図形(2) 立体図形の性質・体積・縮図拡大図
9. C領域：測定(1) 測定の原理・長さ・かさ・重さ・広さ・時刻と時間・単位と測定
10. C領域：変化と関係(1) 伴って変わる二量・異種の二つの量の割合・グラフ
11. C領域：変化と関係(2) 割合（百分率）・比例・比
12. D領域：データの活用(1) 数量の表現・表とグラフ・分類整理
13. D領域：データの活用(2) データの考察・起こり得る場合
14. 学習指導案の作成
15. まとめ・教材研究

テキスト・参考書

- ①テキスト 新版 算数科教育研究 算数科教育学研究会 東洋館出版社 2019
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説・算数編（文部科学省）

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 小学校指導法 算数 改訂第2版 守屋誠司編著 玉川大学出版部 2019

成績評価

- ①レポート 全体を100%として、課題に正対し適切に論述していること（70%）課題に対する自分の見解が述べられていること

と(20%)レポートの完成度(10%)として評価する。

②科目修了試験 論述形式の出題とし、概ね基礎知識30% 考察力25% 論理的思考力25% 自己表現力20%の割合で評価する。

その他

科目修了試験に向けては、内容に従ってテキストを熟読し、各章の「研究問題」に取り組んでください。「研究問題」に関連した内容を出題します。

出版物やインターネットによる情報収集(指導案等)によって、具体的な指導内容や方法を理解した上で、試験に臨んでください。

理科 (テキスト)

当教員： 勝地美奈子・砂川 俊輔

3年次～ 選択2単位 2018年度以降入学者履修不可

テキスト科目／2023年度

概要

小学校を主な対象として、理科教育の目標、内容、歴史の変遷、指導計画、学習指導法、評価、施設と設備、事故災害防止などについて学習します。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ①理科教育の歴史の変遷を知り、その中で今日の位置づけができる。
- ②観察・実験の意義を理解し、的確な指導法を身につける。
- ③理科の学習指導計画立案の際の留意点を知り、実際に立案ができる。
- ④理科の学習指導に必要な科学的知識・思考力を身につける。

学習の進め方

1. テキストの章ごとに学習を進める。「学習の手引」も十分参考にすること。
2. 章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の参考文献を調べる。(古い文献などは図書館の利用をおすすめします。)
3. レポートの課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト、参考文献に基づき学習する。
4. レポートの下書きを作成する。
5. 下書きのレポートと、テキスト・参考文献との整合性等を確認する。
6. 指定の用紙により提出用レポートを作成し、提出する。
7. レポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。レポート不合格の場合は、添削指導教員のコメントをよく理解して、改めてテキストを学習し、参考文献に当たった上でレポートを作成し、提出する。
8. 科目修了試験に向けて学習する。
9. 科目修了試験に不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。科目修了試験終了直後に問題をどの程度解けたか確認し、難しかった箇所を改めて学習し、自分の弱点を克服しておくこと。

内容

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 理科教育の目標 | 9. 理科の授業と指導技術 |
| 2. 日本の理科教育の歴史 | 10. 理科の授業と実践 |
| 3. 現在の日本の理科教育 | 11. 理科の授業と安全指導 |
| 4. 世界の理科教育 | 12. 理科の授業と野外学習 |
| 5. 理科の授業と指導計画 | 13. 理科の授業と環境教育 |
| 6. 理科の授業と教材研究 | 14. 理科の授業と評価 |
| 7. 理科の授業と観察・実験 | 15. 理科の教育実習 |
| 8. 理科の授業と情報機器 | |

テキスト・参考書

①テキスト

小学校学習指導要領解説 理科編 文部科学省

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

『レポート課題集』参照

成績評価

- ①レポート 全体を 100 とし、課題の理解 50%、「ねらい」「アドバイス」の活用 20%、学生自身の学習成果、考察 20%、レポートとしての完成度 10%として評価する。
- ②科目修了試験 論述式。知識 40% 理解 30% 論理性 30%

生活（夏期スクーリング）

担当教員：根本 裕美

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

生活科の理念や思想、教科新設までの経緯、教科目標や内容構成を学ぶとともに、生活科で取り上げる9つの内容について、理解しまとめる。また、生活科の特質や教師の役割等を、探検活動や制作活動を通じて体験的に学び、理解を深める。

授業は、講義、発表、制作、レポート作成等多様な活動を取り入れ、受講者が能動的に学びを創りだせるように工夫する。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ①生活科の誕生や思想、生活科の目標や内容、特質、教師の役割等を理解することができる。
- ②生活科の内容に関わり学んだことや体験したことを、工夫したり協働したりして分かりやすくまとめ、発表することができる。

授業計画

1. オリエンテーション、小学校における生活科の位置付け
2. 生活科の目標：教科目標
3. 生活科の目標：学年の目標
4. 生活科の学習指導の特質：児童の思いや願い、生活圏で学習、自分への気付き等
5. 生活科の誕生及び思想：生活科誕生までの経緯
6. 生活科の内容構成
7. 生活科の内容研究①
8. 生活科の内容研究②
9. 生活科の内容（1）「学校と生活」に関わる探検活動の体験
10. 生活科の内容（1）「学校と生活」に関わる探検活動の表現
11. 生活科の内容（1）「学校と生活」に関わる探検活動の発表
12. 保育所・幼稚園と小学校の連携：幼児教育 スタートカリキュラム
13. 生活科の発展：中学年以上の学習 総合的な学習の時間
14. 生活科と教師の役割：生活科の授業と教師の役割、見取りと評価
15. まとめ：生活科の理解 自己の変容

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

『小学校学習指導要領解説生活編』（平成29年版）を読み、基本的な知識を得ておくこと。また可能であれば小学校で実際に使用されている生活科の教科書を見ておくことが望ましい。制作や発表に関わる講義の際には、準備や練習の時間が必要となる。

②使用教科書 『小学校学習指導要領解説生活編』（平成29年版） 東洋館出版社 134円

- ③参考書
- 教員養成課程 生活科授業用教材 はじめて学ぶ教科教育10 「初等生活科教育」（ミネルヴァ書房）
 - 新・教職課程演習 第15巻 「初等生活科教育、初等音楽科教育、初等図画工作科教育、初等家庭科教育、初等体育科教育、初等総合的な学習の時間」（協同出版）
 - 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」（平成29年版）

④準備するもの ○上記指定の使用教科書

○授業計画7～11に関わる準備の詳細は、1日目の授業時に連絡するが、マジック、のり、はさみ、定規などのポスターや発表作品の制作に関わる用具は持参すること。

⑤成績評価 毎時間のレポートや積極的な取り組み態度：50%、発表や制作物：50%

⑥学生へのメッセージ

生活科は幼児教育と小学校教育の接続に当たる教科です。体験的な活動や、学生の皆さんからの発表などを取り入れ、実感的な理解を深める授業にしていきたいと思っております。なお今年度は、「身近なものを使った遊び」の制作は「生活科教材研究」で行います。

家庭（テキスト）

担当教員： 神田 由紀

3年次～ 選択2単位 2018年度以降入学者履修不可

テキスト科目／2023年度

概要

人間生活の出発点であり、個々人の精神的な基盤でもある家庭生活も、社会の変化とともに変化し、多様化の様相を示している。また、生活者個々の価値観を反映した家庭生活が営まれている。

本科目は、家庭の持つ意味・機能を考えながら、小学校の教科としての家庭科の目標及び内容を理解し、基礎的な知識・技能の修得を目指す。

授業の方法

【印刷教材等】

テキストを中心に各自学習を進め、課題の添削を通じて指導を行う。小学校「家庭」の目標及び内容について、学習指導要領を熟読し理解する。指導計画を考えるとともに、指導に必要な知識、技能の実態を把握し、指導者として必要な知識、技能を習得する。

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ①学習指導要領の小学校「家庭」の目標及び内容を理解する。
- ②日常生活に必要な知識及び技能を身につける。
- ③学習指導要領と教科書との関連を理解する。
- ④学習内容と題材の関連を理解し、指導計画が考えられる。

学習の進め方

テキストを熟読後、レポートを作成する。

科目修了試験に向けては『小学校学習指導要領解説書・家庭編』を中心に復習し、理解しておくこと。

内容

1. 戦後の小学校「家庭」の変遷をたどり、改訂された学習指導要領「家庭」の趣旨を理解する。
2. 教科の目標、学年の目標を吟味し、示されている目標構成や育成する資質・能力について理解する。
3. A～Cの3つの内容を知り、その概要を理解する。
4. 内容Aとそれに含まれる事項について理解する。
5. 内容Bの食生活に必要な知識及び技能を身につける。
6. 内容Bの衣生活に必要な知識及び技能を身につける。
7. 内容Bの製作は教科書の事例を参考に必要な技能を身につける。
8. 内容Bの住生活に必要な知識及び技能を理解する。
9. 内容Cの消費・環境について、この内容が設定された趣旨や具体的な事項を理解する。
10. 教科書の題材と学習指導要領の内容を関連付け、題材構成について理解する。
11. レポート課題を確認後改めて学習し、レポートの準備をする。
12. レポート課題の意図を理解し、下書きを作成する。
13. 下書きレポートとテキストや学習した内容との整合性等を確認する。
14. 指定の用紙により提出用レポートを作成し、提出する。
15. レポート合格後、科目修了試験に向けて「小学校学習指導要領解説 家庭編」を中心に教科の目標や内容について復習する。

テキスト・参考書

①テキスト

小学校学習指導要領解説 家庭編 文部科学省
新家庭科教育法 学文社
新しい家庭5・6 東京書籍

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 『レポート課題集』参照のこと

成績評価

①レポート 課題1・2はそれぞれ50点として採点する。問題と相対したものとなっているか、確かな知識・理解、思考力を発揮し論理的な書き方をしているかなどから総合的に評価する。

②科目修了試験 第1問50点、第2問50点と配分し、合計点で評価する。基礎的な知識・理解がみられるか、思考力や考察力、表現力などから総合的に点数をつける。

子どもと健康・運動（夏期スクーリング）

担当教員： 澤田 美砂子・吉田 真咲

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

領域「健康」の指導に関わる、幼児の心身の発達や運動発達、基本的な生活習慣、安全な生活などの専門的事項についての知識を身に付けるとともに、環境の構成や工夫、指導における留意点を考慮しながら、様々な教材（遊具）を用いて子どもの発達に則した運動遊びのあり方について、実践を通して学ぶ。

授業の方法

【面接】講義および実技を行う。実技ではグループワークを行うこともある。

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ①幼児期の身体の発達と運動の発達の様相をふまえ、運動遊びの内容や必要な環境構成について理解し、指導案の立案や運動指導を行うことができる。
- ②各種の運動の特性に触れながら、運動を実践できる。
- ③幼児期に必要な基本的な生活習慣の形成とその意義、安全教育や健康管理に関する基礎知識について理解している。

授業計画

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 幼児期の健康と運動 [講義] | 9. 幼児期の運動遊びと動機づけ [講義] |
| 2. 幼児期の運動能力の低下とその現状 [講義] | 10. なわ・フープを使った運動遊び【実技】 以上第4日 |
| 3. 運動遊びを楽しむからだづくり【実技】 以上第1日 | 11. 幼児期の運動指導のポイント [講義] |
| 4. 幼児期の身体発達と運動 [講義] | 12. ボールを使った運動遊び【実技】 以上第5日 |
| 5. 幼児期の心理的発達と運動 [講義] | 13. 幼児期の安全教育と安全管理 [講義] |
| 6. 鬼遊び【実技】 以上第2日 | 14. 幼児期の健康と運動に関わる現代的な課題 [講義] |
| 7. 幼児期の生活と運動 [講義] | 15. マット・巧技台を使った運動遊び【実技】 以上第6日 |
| 8. 身近な素材を使った運動遊び【実技】 以上第3日 | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

幼児期を中心とした子どもの運動遊びのあり方について、教科書をよく読み、予習しておいてください。この事前学修には1回の授業につき1時間以上必要です。また、毎回各自で取り組める実技がありますので、体を動かせるよう、スクーリング期間前から1日30分程度はストレッチや軽運動を行い、体調を整えておいてください。

②使用教科書 『保育と幼児期の運動あそび（第二版）』岩崎洋子 萌文書林

③参考書 指定なし

④準備するもの 運動着、飲み物、タオル等

⑤成績評価

目標達成度（70%）と運動やグループディスカッションに取り組む姿勢（30%）により総合的に評価する。指導案は第1日目に課題を出し、授業最終日に提出する。

⑥学生へのメッセージ

実技は運動遊びが中心で過度に激しい運動は行いませんが、各自体調を整えて怪我のないよう気を付けてください。運動遊びを楽しみ積極的に実技に取り組むことを期待します。

子どもと人間関係（テキスト）

担当教員：条原 淳子

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2023年度

概要

現代社会における人間関係の諸課題と幼稚園教育要領等に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について理解し、乳児期から幼児期の発達の特徴を踏まえ、子どもが周囲の人たちとの関係を深めていく過程を支える保育者の役割を理解する。テキスト内の演習にも自主的に取り組みながら学習内容を深めるとともに、小レポートについて実際の保育場面を想定しながら作成し、保育を構想する力を磨く。さらに乳幼児期の人との関わりが、生涯を生きる力の基礎となるよう指導・援助できる保育者の資質を習得する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童 DP2

到達目標

- ① 現行の幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園保育・教育要領における領域「人間関係」の内容を理解する。
- ② 生涯にわたり豊かな人間関係を築いていくための基盤を育むために、乳幼児期の発達や個に応じた指導を行う保育者の役割について理解する。
- ③ 具体的な保育を想定したレポートや指導案の作成を通し、保育者としての専門性を高める。
- ④ 領域「人間関係」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。

学習の進め方

テキストを学習後、レポート課題に着手し、参考文献にもあたりながらレポートを作成する。テキスト・関連文献との整合性等を確認した後、レポートを清書し、提出する。レポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・関連文献によりさらに学習する。

内容

1. 第1章 幼児教育の考え方と領域「人間関係」 幼児教育の基本
2. 第1章 幼児教育の考え方と領域「人間関係」 幼児期に育みたい資質・能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
3. 第1章 幼児教育の考え方と領域「人間関係」 領域「人間関係とは」
4. 第2章 保育者の役割と「人間関係」 乳児期・幼児期の人と関わる力の育ちと保育者の役割
5. 第2章 保育者の役割と「人間関係」 乳幼児の人と関わる力を育む保育者の役割
6. 第3章 乳幼児期の発達と領域「人間関係」
7. 第4章 個と集団の育ち ～集団化のプロセス～ 集団の意義と集団づくりのポイント
8. 第4章 個と集団の育ち ～集団化のプロセス～ 協同性と葛藤体験
9. 第5章 実際の子どもの生活 子どもの言葉と人間関係
10. 第5章 実際の子どもの生活 子どもの遊びと人間関係
11. 第5章 実際の子どもの生活 子どもの生活と人間関係
12. 第5章 実際の子どもの生活 子どもの活動と人間関係
13. 第6章 幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 小学校との連携・接続
14. 第6章 幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 子どもを取り巻く地域や高齢者との交流
15. 第6章 幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 保護者との関わり・保育者同士の人間関係

テキスト・参考書

① テキスト

「実践から学ぶ 子どもと人間関係」 浅見均編著 大学図書出版、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② 参考書

「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「認定こども園教育・保育要領解説」

成績評価

① レポート

・課題の的確な理解、テキストでの学習の成果、子どもの視点を踏まえた自身の考えの記述、具体的な指導案の作成について、総合的に評価する。

② 科目修了試験

・論述形式の出題とし、子どもと人間関係についてテキストの内容を踏まえた具体的かつ論理的な記述など、総合的に評価する。

特記事項 2023年度以降入学者のみ履修可

子どもと環境（テキスト）

担当教員：浅野 由子

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2023年度

概要

子どもたちを取り巻く生活の場としての「環境」の重要性や、子どもと「環境」の関わりについての専門的事項から総合的な感性を養い、多角的な視点から「環境」の知識と技能を身につける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童 DP2

到達目標

- ①子どもを取り巻く「環境」と、幼児の発達にとっての意義を理解することができる。
- ②子どもの身近な「環境」との関わりにおける思考・科学的概念の発達を理解することができる。
- ③子どもの身近な「環境」との関わりにおける標識・文字等、情報・施設等との関わりを発達を理解することができる。

学習の進め方

1. テキストを学習する。
2. 章ごとあるいは複数の章の学習を終えたところで関連する文献を調べる。その後、レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・関連文献に基づき学習する。
3. レポートの下書きを作成し、テキスト・関連文献との整合性等を確認した後、レポートを清書し、提出する。
4. レポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・関連文献によりさらに学習する。

内容

1. 幼児教育の基本と領域（環境） ※(1)第1章（6-7除く）(2) PART 1－第2章、第3章
2. 環境の定義と諸側面（人的環境・物的環境・自然・社会環境・地球環境） ※(1)第1章-7、(2) PART 1－第1章
3. 人的環境としての保育者・友達など ※(1)1章-6、第2章
4. 子どもの発達（年齢）段階に応じた遊び環境 ※(1)第3章
5. 自然環境という言葉の定義と保育実践例 ※(2) PART 2－第2章、
6. 自然環境としての生き物・植物・自然の事象など ※(1)第4章
7. 物的環境としての遊具・素材・設備など ※(1)第5章
8. ものとの関わりを保育実践例 ※(2) PART 2－第1章
9. 時間と空間（文字・標識・数・図形） ※(1)第6章
10. 数量・図形・標識・文字を活かした保育実践例 ※(2) PART 2－第3章、第4章
11. 社会環境を活かす保育実践例 ※(2) PART 2－第5章、第6章、第7章
12. 行事・地域との関わりなど ※(1)第7章
13. 乳幼児期の安全な環境及び思考力・道徳力の芽生えを育む保育 ※(1)第8章
14. ICTを利用した実践例と小学校以降の教科とのつながり ※(1)第9章
15. まとめ

※ 内容に関して、特に記載されているテキストの箇所です。焦点を絞る際に、参考にしてください。

テキスト・参考書

①テキスト

- (1) 『領域「環境」』無藤隆 萌文書林 2018
- (2) 実践例から学びを深める保育内容・領域『環境指導法』わかば社 2021

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

- ・『幼稚園教育要領解説（平成30年3月 文部科学省）』フレーベル館 2018
- ・「絵本で読みとくSDGs」水声社 中川素子・浅野由子編 2022

成績評価

①レポート

- ・与えられたテーマに関して、内容的確さ、正確さ、論理性を含め、総合的に評価する。
- ・課題の理解30%、テキストでの学習成果50%、レポートとしての完成度20%

②科目修了試験

- ・論述形式の出題、知識40% 理解30% 論理的思考力20%、記述力10%
- 注) 内容1～15に関わる課題を、テキスト(1)(2)の全体像を把握した上で、記述していただきます。

特記事項 2023年度以降入学者のみ履修可

子どもと言葉（テキスト）

担当教員：大沼 郁子

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2023年度

概要

幼児期の言葉の獲得における言語環境の重要性を認識し、領域「言葉」のねらい及び内容についての理解を深め、保育者の日々のかかわり方や絵本などの保育教材の扱い方など保育者の役割と援助について理論と実践の両方に触れながら学ぶ。多様で豊かな遊びや児童文化財について学び、それらを活用しながら、子どもの言葉を育てる環境や活動を学ぶ。

授業の方法 レポートの提出、筆記試験

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①幼稚園教育要領の領域「言葉」の基本的事項や意義を理解し、幼児期の言葉の発達とその特徴を理解する。
- ②保育者としてのかかわりや保育教材（絵本、紙芝居等）について実際の保育場面に即して考えることができ、指導計画を立てられる。
- ③小学校教育との円滑な接続や保育内容の現代的課題を踏まえ、幼児期にふさわしい生活と援助、のぞましい環境の構成について、総合的に捉える視点を養い、学びを深めることができる。

学習の進め方

1. テキストを学習する。
2. 章ごとあるいは複数の章の学習を終えたところで関連する文献を調べる。その後、レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・関連文献に基づき学習する。
3. レポートの下書きを作成し、テキスト・関連文献との整合性等を確認した後、レポートを清書し、提出する。
4. レポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・関連文献によりさらに学習する。

内容

1. 乳児期のことば 言葉とは何か
2. 子どもの成長と言葉の発達（0～1歳児頃）
3. モノへの関心と行動の広がり（1～2歳児頃）
4. 象徴能力の発達
5. 自我のめばえと行動が語る言葉（あかちゃん絵本）
6. 他者との関わりと言葉（遊びをとおして）
7. 行動のひろがりと言葉
8. 感情表現と言葉
9. 幼年文学（3歳児頃）
10. 昔話の言葉とリズム
11. 想像力の発達とアニミズム（3歳頃）
12. 言葉による志向のめばえ（4～5歳頃）
13. 未知の言葉の獲得と自己世界の広がり
14. 特別な配慮や支援が必要な子どもとの関わり
15. まとめ

テキスト・参考書

① テキスト

『子どもとことばの世界』今井和子 ミネルヴァ書房 1996年

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② 参考書

『幼稚園教育要領解説（平成30年3月 文部科学省）』 フレーバル館 2018
『事例で学ぶ保育内容 領域言葉』萌文書林 2018
『子どもとことば』岡本夏木 岩波新書 1982
『ことばと発達』岡本夏木 岩波新書 1985

成績評価

① レポート

- ・与えられたテーマに関して、内容的確さ、正確さ、論理性を含め、総合的に評価する。
- ・課題の理解30%、テキストでの学習成果50%、レポートとしての完成度20%

② 科目修了試験

- ・論述形式の出題とし、知識40% 理解30% 論理的思考力20%、記述力10%

特記事項 2023年度以降入学者のみ履修可